

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-11

< 第46週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向  
< 10月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症について



注目すべき感染症  
P.12-14

< 感染性胃腸炎 >  
定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、第46週の定点当たり報告数は11.39となった



病原体情報  
P.15-16

感染性胃腸炎関連ウイルス 2012/13シーズン



速報  
P.17-18

チクングニア熱の2例



海外感染症情報  
P.19-23

新種のコロナウイルス感染症について / ウガンダでエボラ出血熱が発生しています / ウガンダでマールブルグ病が発生しています / スーダンで黄熱の患者が発生しています / インフルエンザ



感染症の話  
P.24

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧( 46週 )  
P.25-30



グラフ総覧( 10月 )  
P.31-36



10月のデータ  
P.37-39



46週のデータ  
P.40-52



# 発生動向総覧

< 第46週コメント > 11月21日集計分

## 全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

### 1類感染症

報告なし

### 2類感染症

結核348例

### 3類感染症

細菌性赤痢1例 菌種: *S. sonnei* (D群) 感染地域: インド

腸管出血性大腸菌感染症48例( 有症者19例、うちHUS 2例 )

感染地域: 国内46例、トルコ2例

国内の感染地域: 長崎県12例、埼玉県6例\*、福岡県5例、山形県3例、愛知県3例、東京都2例、鹿児島県2例、群馬県1例、千葉県1例、神奈川県1例、長野県1例、岐阜県1例、三重県1例、京都府1例、大分県1例、不明5例

\* 第45週に起きた保育所における集団発生( O121 VT2 )を含む  
年齢群: 0歳( 1例 )、1歳( 1例 )、2歳( 5例 )、3歳( 3例 )、4歳( 8例 )、5歳( 4例 )、6歳( 1例 )、9歳( 1例 )、10代( 3例 )、20代( 5例 )、30代( 2例 )、40代( 3例 )、50代( 5例 )、60代( 4例 )、70代( 2例 )

血清型・毒素型: O157 VT2( 16例 )、O157 VT1・VT2( 14例 )、O121 VT2( 5例 )、O26 VT1( 4例 )、O157 VT1( 2例 )、O26 VT2( 1例 )、O103 VT1( 1例 )、O111 VT1・VT2( 1例 )、O157 VT不明( 1例 )、その他・不明( 3例 )

累積報告数: 3,568例( 有症者2,251例、うちHUS 89例、死亡9例 )

### 4類感染症

A型肝炎2例 感染地域: 東京都1例、フィリピン1例

つつが虫病16例 感染地域: 福島県2例、群馬県2例、石川県2例、大分県2例、青森県1例、茨城県1例、神奈川県1例、福井県1例、静岡県1例、三重県1例、広島県1例、長崎県1例

デング熱4例 感染地域: インド2例、タイ1例、ハイチ1例

日本紅斑熱4例 感染地域: 和歌山県1例、広島県1例、高知県1例、福岡県1例

レジオネラ症13例( 肺炎型12例、無症状病原体保有者1例 )

感染地域: 山形県2例( うち1例温泉 )、大阪府2例、兵庫県2例、北海道1例、群馬県1例、新潟県1例( 温泉 )、京都府1例、岡山県1例、高知県1例、福岡県1例

年齢群: 40代( 1例 )、60代( 4例 )、70代( 2例 )、80代( 4例 )、90代( 2例 )

**5類感染症**

アメーバ赤痢21例( 腸管アメーバ症17例、腸管外アメーバ症4例 )

感染地域: 福島県2例、千葉県2例、東京都2例、大阪府2例、宮城県1例、埼玉県1例、神奈川県1例、和歌山県1例、広島県1例、福岡県1例、国内( 都道府県不明 )6例、タイ/韓国1例

感染経路: 性的接触6例( 異性間3例、同性間2例、異性間・同性間不明1例 )、経口感染4例、不明11例

ウイルス性肝炎1例 C型\_\_感染経路: 性的接触( 同性間 )

急性脳炎1例 病原体不明\_\_年齢群: 4歳

クロイツフェルト・ヤコブ病1例

孤発性プリオン病古典型

劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例

年齢群: 40代( 1例 . 死亡 )、70代( 2例 . うち1例死亡 )

後天性免疫不全症候群12例( AIDS 5例、無症候7例 )

感染地域: 国内10例、国内・国外不明2例

感染経路: 性的接触10例( 異性間2例、同性間6例、異性/同性間1例、異性間・同性間不明1例 )、不明2例

ジアルジア症2例 感染地域: 台湾1例、タイ/中国1例

梅毒10例( 早期顕症I期2例、早期顕症II期3例、晩期顕症1例、無症候4例 )

破傷風2例 年齢群: 70代( 1例 )、80代( 1例 )

風しん30例( 検査診断例23例、臨床診断例7例 )

感染地域: 東京都10例、神奈川県4例、大阪府3例、埼玉県2例、千葉県2例、兵庫県2例、国内( 都道府県不明 )7例

年齢群: 0歳( 1例 )、2歳( 1例 )、5~9歳( 1例 )、15~19歳( 2例 )、20~24歳( 8例 )、25~29歳( 5例 )、30~34歳( 4例 )、35~39歳( 4例 )、40代( 4例 )

累積報告数: 2,039例( 検査診断例1,509例、臨床診断例530例 )

麻しん3例( 麻しん( 臨床診断例3例 ) )

感染地域: 東京都3例

年齢群: 20~24歳( 1例 )、30~34歳( 1例 )、40代( 1例 )

累積報告数: 278例( 麻しん( 検査診断例140例、臨床診断例68例 )、修飾麻しん( 検査診断例70例 ) )

遺伝子型別累積報告数( 遺伝子型が同定・報告された症例のみ ): 66例

D4: 6例\_\_感染地域: 東京都2例、千葉県1例、東京都/ベトナム1例、大阪府/英国1例、パキスタン1例

D8: 45例\_\_感染地域: 愛知県19例、宮崎県7例、千葉県5例、岐阜県3例、山梨県2例、都道府県不明6例、タイ2例、タイ/カンボジア1例

D9: 8例\_\_感染地域: 岡山県4例、栃木県1例、千葉県1例、東京都1例、フィリピン1例

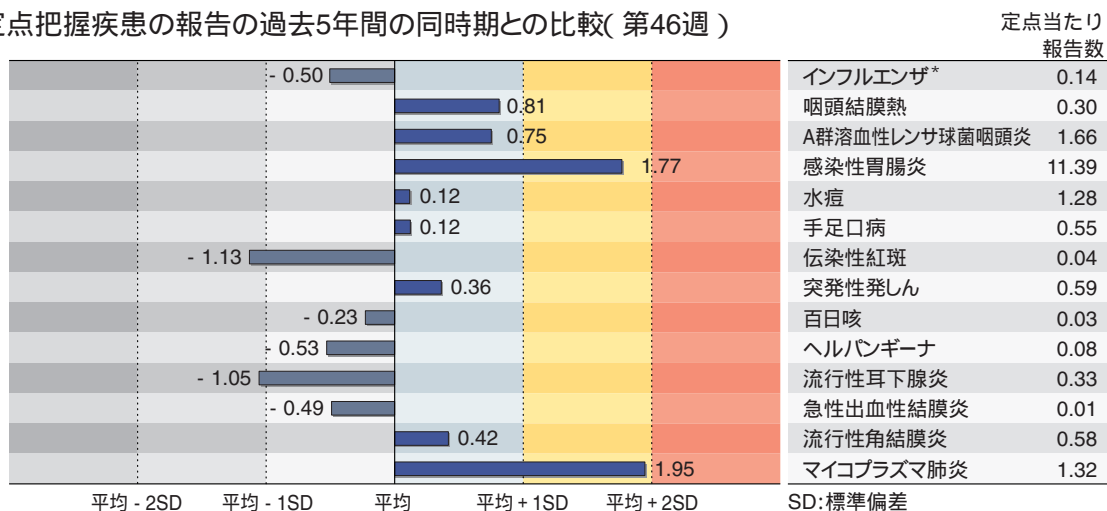
H1 : 7例\_\_感染地域 : 福島県4例、東京都1例、中国1例、台湾1例

( 補 ) 2012年第45週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例( 菌種 : *S. flexneri* ( B群 ) \_\_感染地域 : インドネシア )、E型肝炎1例( 感染地域\_\_感染源 : 北海道\_\_不明 )、エキノコックス症1例( 多包条虫\_\_感染地域 : 北海道 )、デング熱1例( 感染地域 : ミャンマー )、日本紅斑熱2例( 感染地域 : 愛媛県2例 )、急性脳炎2例( 病原体不明2例\_\_年齢群 : 1歳( 1例 )、3歳( 1例 ) )、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例( 50代 )などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較( 第46週 )



当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )との差をグラフ上に表現した。( \*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

### インフルエンザ

定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では沖縄県( 1.83 )、佐賀県( 1.59 )、福井県( 0.38 )、秋田県( 0.33 )が多い。

#### 小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は3,386例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では宮崎県( 1.61 )、佐賀県( 1.57 )、山形県( 0.90 )が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では山口県( 4.35 )、鳥取県( 2.89 )、山形県( 2.83 )、石川県( 2.83 )が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県( 22.42 )、福岡県( 20.03 )、大分県( 19.42 )、大阪府( 19.21 )が多い。

水痘の定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では山形県( 3.23 )、新潟県( 2.63 )、長野県( 2.49 )が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県( 2.40 )、山形県( 2.20 )、福島県( 2.15 )が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では愛媛県( 0.14 )、岩手県( 0.13 )、高知県( 0.13 )が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では徳島県( 0.09 )、福岡県( 0.08 )が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別では香川県( 0.77 )、山口県( 0.25 )、新潟県( 0.23 )が多い。

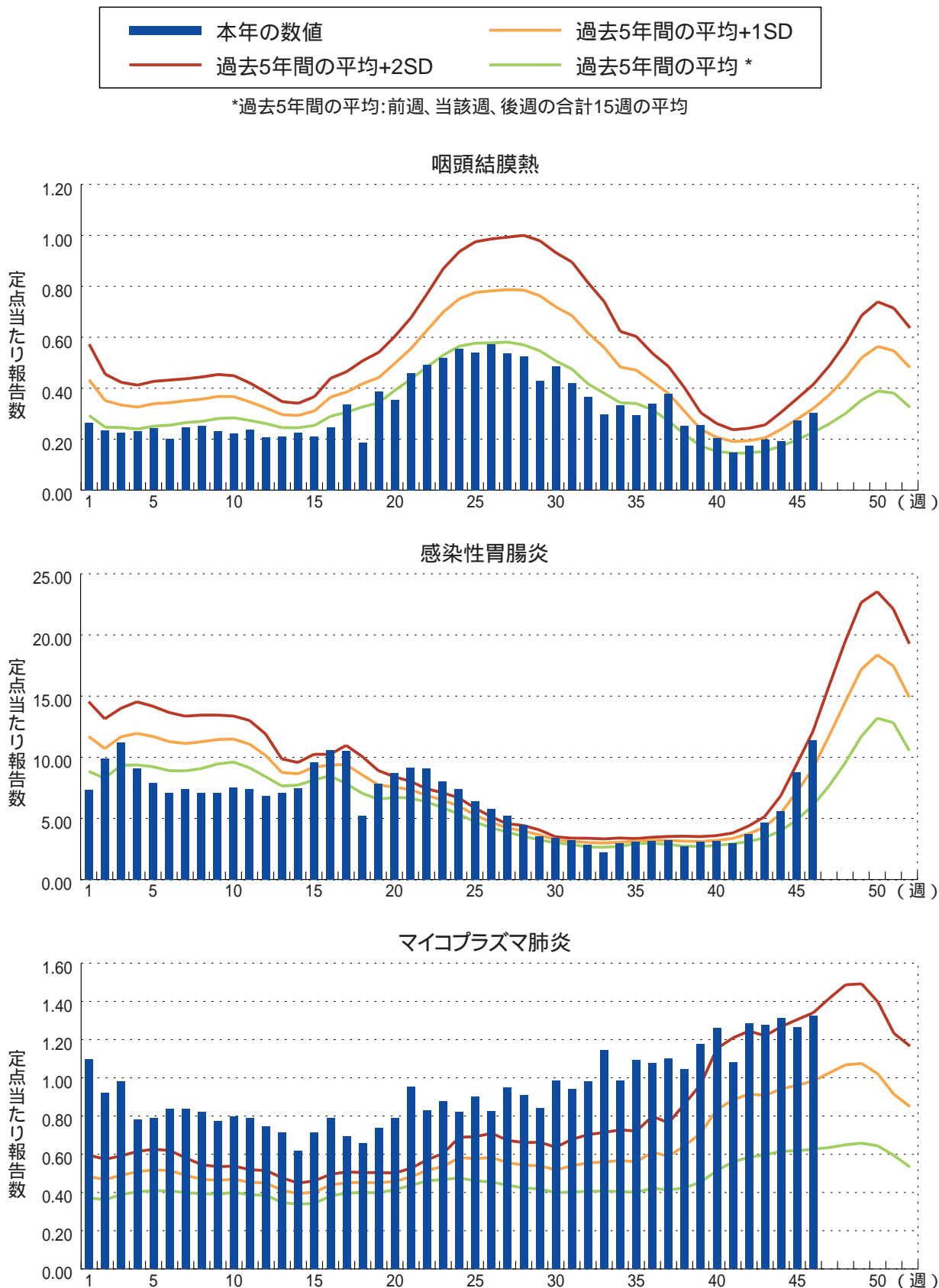
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県( 1.67 )、岩手県( 1.30 )、山形県( 1.23 )が多い。

#### 基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福島県( 4.57 )、群馬県( 4.25 )、栃木県( 4.14 )、埼玉県( 3.56 )が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2012年第46週 )

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



## 10月コメント

### 性感染症について( 11月12日集計分 )性感染症定点数 969

( 産婦人科・産科・婦人科: 470、泌尿器科: 404、皮膚科: 83、性病科: 12 )

#### 月別推移

2012年10月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.29( 男1.09、女1.20 )、性器ヘルペスウイルス感染症が0.79( 男0.35、女0.44 )、尖圭コンジローマが0.56( 男0.32、女0.25 )、淋菌感染症が0.88( 男0.67、女0.21 )であった。男性では性器クラミジア感染症、次いで淋菌感染症が多く、女性では性器クラミジア感染症、次いで性器ヘルペスウイルス感染症が多かった( 図1 )。

前月に比べると、男性では、性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で増加、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で増加した。女性では、性器クラミジア感染症で横ばい、性器ヘルペスウイルス感染症で微増、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で増加した( 31~34ページ「グラフ総覧」参照 )。過去5年間の同時期と比較すると、男性では、性器ヘルペスウイルス感染症がかなり多く、尖圭コンジローマがやや多かった。女性では、尖圭コンジローマがやや多く、淋菌感染症がかなり多かった( 図2 )。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合( 10月 )

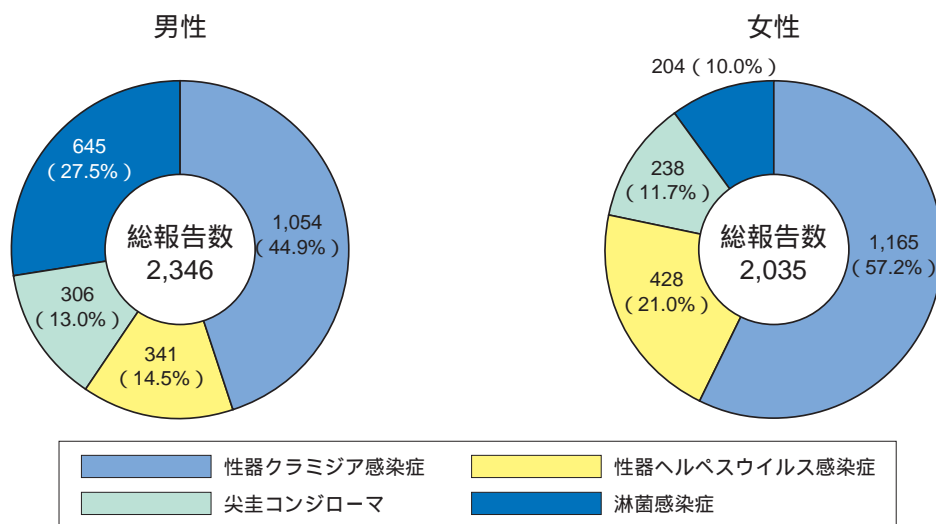
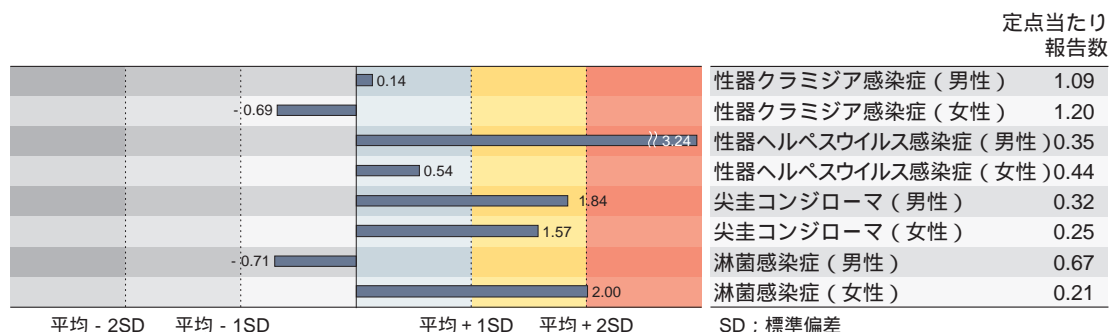


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較( 10月 )



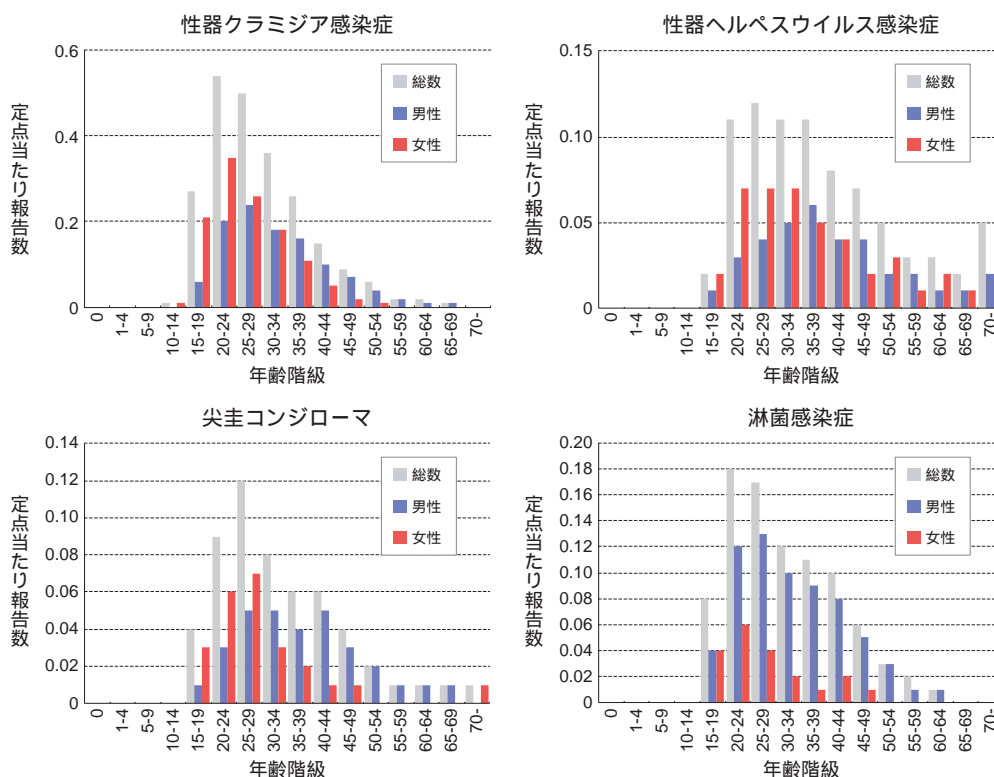
当該月と過去5年間の平均( 過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均 )との差をグラフの上に表現した。

男女別・年齢群別

年齢群別( 0歳、1～4歳、5～69歳は5歳毎、および70歳以上 )でみた定点当たり報告数のピークは、男性では、性器クラミジア感染症は25～29歳の年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症は35～39歳の年齢群、尖圭コンジローマは25～34歳、40～44歳の3つの年齢群、淋菌感染症は25～29歳の年齢群であった。女性では、性器クラミジア感染症は20～24歳の年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症は20～34歳の3つの年齢群、尖圭コンジローマは25～29歳の年齢群、淋菌感染症は20～24歳の年齢群であった( 図3 )。男女ともに4疾患すべてで15～19歳の年齢群の報告があり、女性の性器クラミジア感染症、淋菌感染症で10～14歳の年齢群の報告があった。また、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の3疾患の報告は、男性では60代以上は僅かであり、女性では50代以上は僅かである。しかし、性器ヘルペスウイルス感染症は男女ともに、50代以降の報告も少なくない。この年齢層は再発例が含まれている可能性が以前から指摘されており、2006年4月の届出基準改正により、抗体のみ陽性のものの除外に加えて「明らかな再発例は除外する」ことが明示された。しかし、年齢群分布においての明らかな変化は見られておらず、この基準の周知徹底とともに、遵守されているかの検討なども必要と考える。

年齢群毎にみた定点当たり報告数の男女の比較では、性器クラミジア感染症では10～29歳の4つの年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症では15～34歳、50～54歳、60～64歳、70歳以上の7つの年齢群、尖圭コンジローマでは15～29歳、70歳以上の4つの年齢群という比較的低い年齢層を中心に女性が男性より多く、他の年齢群は同値あるいは男性が多かった。淋菌感染症では15～19歳の年齢群で同値で、他のすべての年齢群で男性が女性より多かった。ただし、性感症定点は泌尿器科系、婦人科系および皮膚科系などの診療科から構成されており、男女の比較については各地域におけるそれらの比率等の影響を受ける可能性がある。

図3. 性感症の性別・年齢群分布( 10月 )

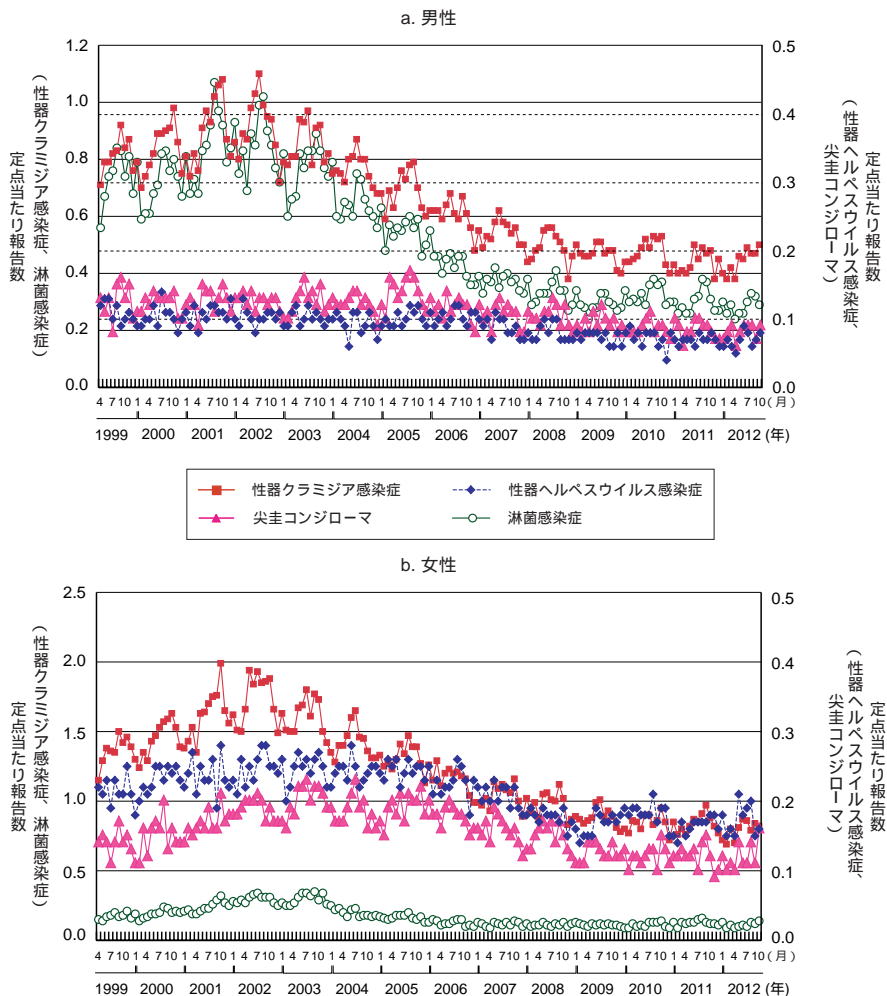




若年層での推移

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年層( 15 ~ 29歳 )における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に図4に示した。性器クラミジア感染症は男性では2003年以降減少傾向がみられた後、2010年はほぼ横ばいで推移したが、2011年以降は再び減少している。女性では2003年以降減少傾向がみられた後、2011年はほぼ横ばいであったが、2012年は再び減少している。性器ヘルペスウイルス感染症は男性では2007年以降減少傾向がみられた後、2010年は横ばいで、2011年に再び減少したが、2012年は横ばいである。女性では2006年以降減少傾向がみられた後2010年にやや増加したが、2011年は減少し、2012年は増加している。尖圭コンジローマは男性では2006年以降減少傾向がみられている。女性では2006年以降減少傾向がみられた後、2010年以降はほぼ横ばいで推移している。淋菌感染症は男性では2003年以降減少傾向がみられた後2010年にやや増加したが、2011年以降は再び減少している。女性では2004年以降減少傾向がみられた後2008年以降はほぼ横ばいで推移していたが、2011年は増加し、2012年は再び減少している。前月との比較では、男性では性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で増加、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で減少であった。女性では性器クラミジア感染症で減少、性器ヘルペスウイルス感染症で増加、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で増加であった。

図4. 若年層における性感染症の年別・月別推移  
( 15 ~ 29歳、1999年4月 ~ 2012年10月 )



## 薬剤耐性菌感染症について( 11月12日集計分 )

2012年10月の基幹定点総数 : 469

### 定点当たり報告数

#### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌( MRSA )感染症

3.85( 前月: 3.63、前年同月: 4.31 )

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。10月は前月より増加し、過去10年間の同月との比較では中位に属した。

#### ペニシリン耐性肺炎球菌( PRSP )感染症

0.55( 前月: 0.47、前年同月: 0.76 )

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて( 4～6月 )と冬( 11、12月 )に多く、夏( 7～9月 )に少なく推移していたが、2012年は5～6月の報告数増加が認められていない。10月は前月より増加し、過去10年間の同月との比較では最も少なかった。

#### 薬剤耐性緑膿菌( MDRP )感染症

0.08( 前月: 0.05、前年同月: 0.11 )

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比して多い傾向がある。10月は前月より増加し、過去10年間の同月との比較では下位に属した。

#### 薬剤耐性アシネトバクター( MDRA )感染症

0.00( 前月: -、前年同月: 0.02 )

10月の報告数は1例であった。2011年2月の報告開始であるため、傾向の分析や過去との比較は未だ困難である。

**年齢階級別**

MRSA感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の63%を占めている( 図1 )。

PRSP感染症...小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の50%を占める一方、70歳以上が全体の27%を占めている( 図2 )。

MDRP感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の82%を占めている( 図3 )。

MDRA感染症...70歳以上で1例報告されている( 図4 )。

**性別( 女性を1として算出した男女比 )**

MRSA感染症...男 : 女 = 1.6 : 1

PRSP感染症...男 : 女 = 1.5 : 1

MDRP感染症...男 : 女 = 2.2 : 1

MDRA感染症...男 : 女 = 1 : 0

**都道府県別**

MRSA感染症...定点当たり報告数は愛知県( 8.14 )、福島県( 7.43 )、沖縄県( 7.14 )が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は山口県( 2.00 )、山形県( 1.50 )、東京都( 1.42 )が多い。

MDRP感染症...報告総数が38例にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

MDRA感染症...報告総数が1例のみであるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

**薬剤耐性菌感染症について( 10月 )**

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

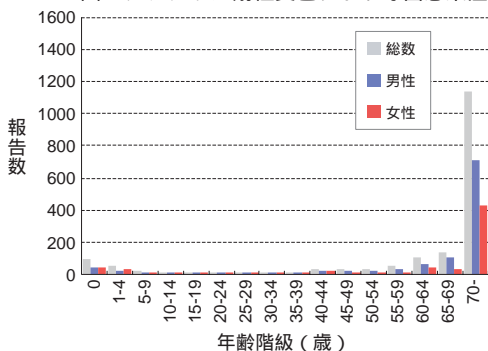


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

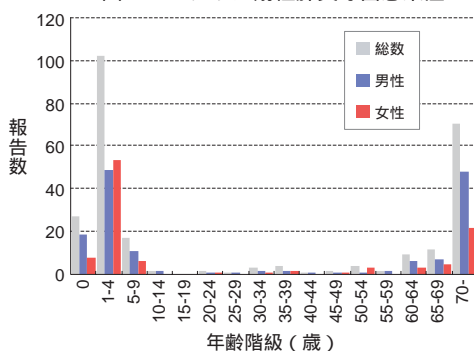


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症

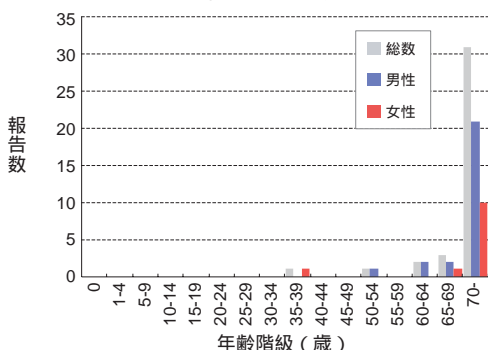
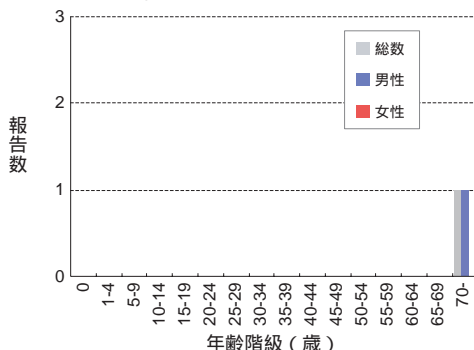


図4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症





# 注目すべき感染症

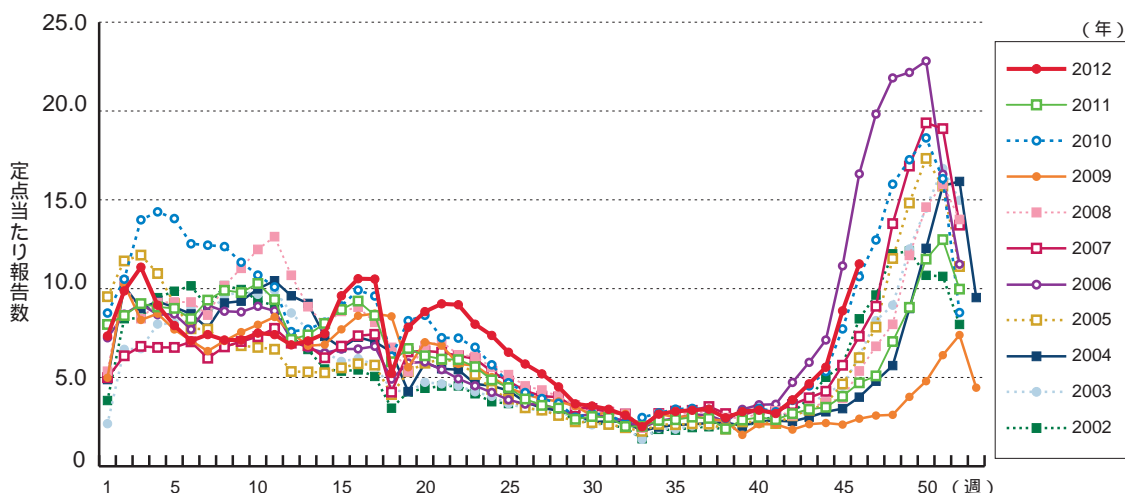
## 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測される。また、患者発生ピークは例年12月中となることが多く( 図1 )、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられている( IASR, Vol 31, No 11, P312-314 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/369/tpc369-j.html> 参照 )。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間 ~ 数日( 平均1 ~ 2日 )で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間 ~ 数日( 平均1 ~ 2日 )と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くはない。特効薬はなく、治療は対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト - ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある( 感染症情報センターホームページ「ノロウイルスの感染経路」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/0702keiro.html> 参照 )。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である( 感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、「医療従事者・施設スタッフ用」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html> 参照 )。

図1. 感染性胃腸炎の年別・週別発生状況( 2002 ~ 2012年第46週 )



感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎は全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいている。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2012年第42週以降増加が続いており、第46週の定点当たり報告数は11.39( 報告数35,862 )となった( 図1 )。都道府県別では宮崎県( 22.42 )、福岡県( 20.03 )、大分県( 19.42 )、大阪府( 19.21 )、熊本県( 18.73 )、鹿児島県( 18.69 )、兵庫県( 18.36 )の順となっている。定点当たり報告数が全国値を上回っているのは西日本地域に多いが、42都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている( 図2 )。2012年第36 ~ 46週の定点当たり累積報告数は52.41( 累積報告数165,397 )であり、年齢群別割合は0 ~ 1歳26.2%、2 ~ 3歳21.2%、4 ~ 5歳16.9%、6 ~ 7歳9.8%、8 ~ 9歳6.6%、10 ~ 14歳8.4%、15 ~ 19歳2.0%、20歳以上9.0%の順となっている( 図3 )。

図2. 感染性胃腸炎の都道府県別定点当たり報告数の推移( 2012年第44 ~ 46週 )

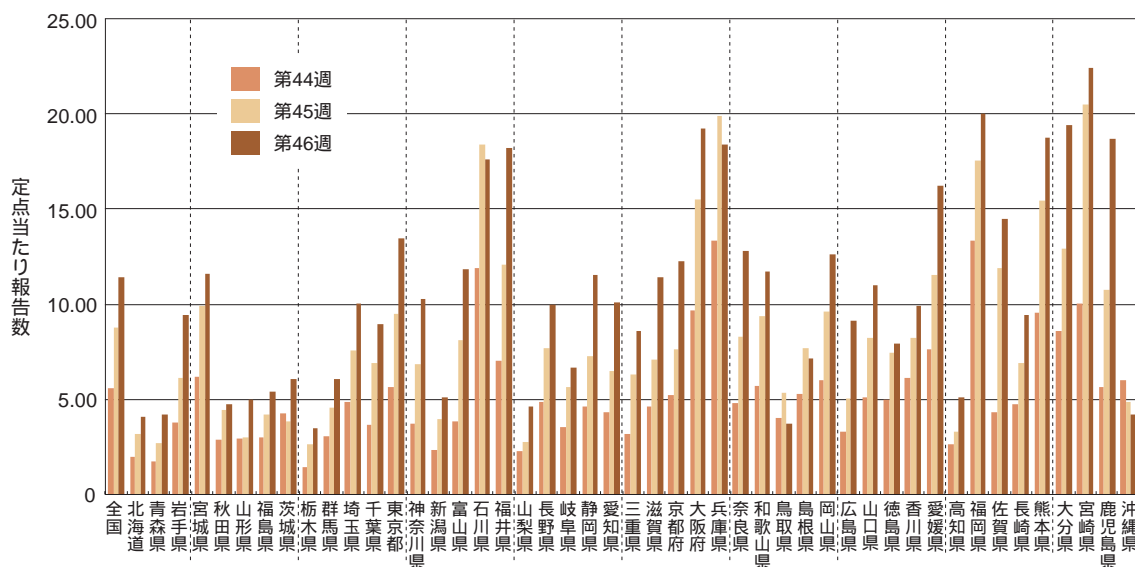
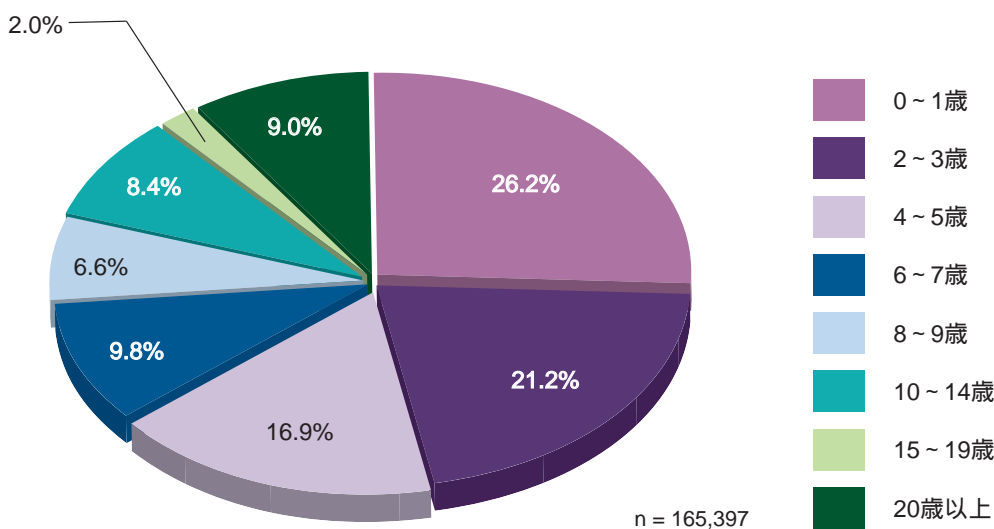


図3. 感染性胃腸炎の年齢群別割合( 2012年第36 ~ 46週 )



2012年の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、特に第44週に5.0を上回って以降は急激な増加となり、全国的な流行となってきた。感染性胃腸炎の報告数の推移には今後とも注意深い観察が必要である。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html> )からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

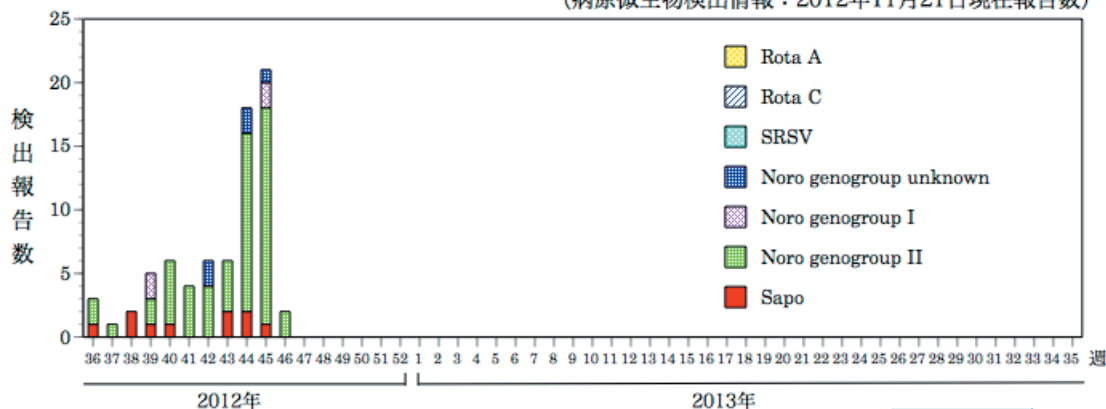
( 2012年11月21日現在報告分 )

### 感染性胃腸炎関連ウイルス 2012/13シーズン

2012/13シーズン当初からノロウイルスの検出報告が続いており、2012年第44週( 10/29-11/4 )から増加している。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2012/13シーズン

(病原微生物検出情報：2012年11月21日現在報告数)



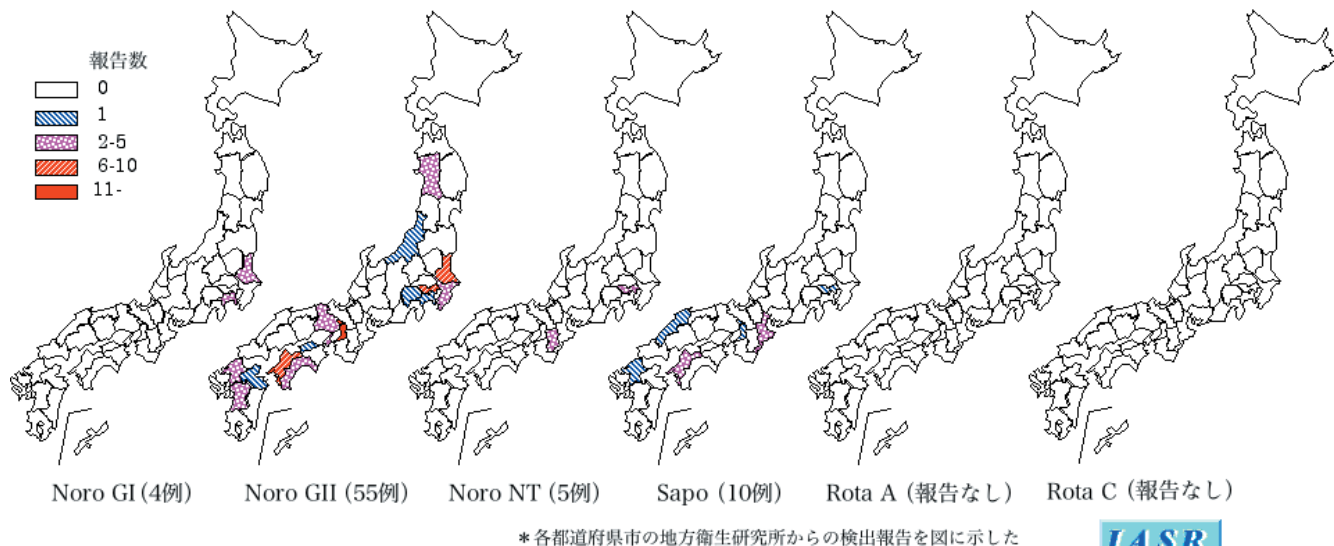
\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



集団発生病原体票による報告では2012年第37～46週( 発生週 )に、7府県の飲食店や宴会場などにおける食中毒や有症苦情、保育所、小学校、中学校、老人施設などにおける感染性胃腸炎の集団発生22事例からノロウイルスが検出されている。このうち、9事例はgenogroup( G )II/4、1事例はGI/3と遺伝子型別されている。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2012/13シーズン

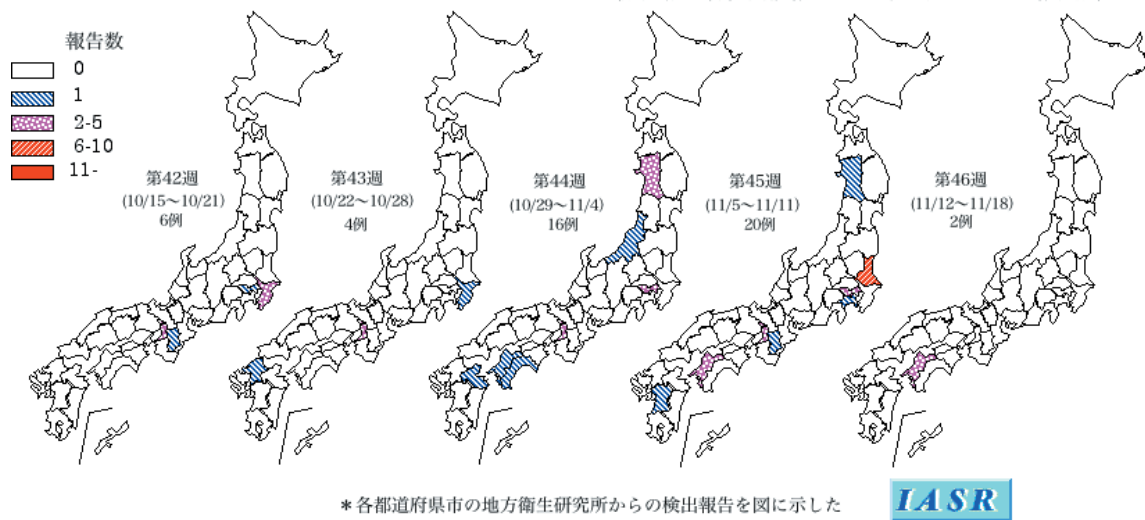
(病原微生物検出情報：2012年11月21日現在報告数)



病原体個票では2012年第36～46週( 検体採取週 )までにノロウイルスGIIが15都府県から55件(うち、GII/4 15件、GII/7 1件)、ノロウイルスGIが2県から4件(うち、GI/3 2件)、ノロウイルス genogroup不明が2都府県から5件、サポウイルスが6都府県から10件(うち、GI 3件)、アストロウイルスが熊本県から1件報告されている。

週別都道府県別ノロウイルス検出報告状況、2012年第42週～第46週

(病原微生物検出情報：2012年11月21日現在報告数)



2012年第42～46週( 10/15-11/18 )の5週間では、ノロウイルスが13都府県から48件(大阪府10件、茨城県、東京都各8件、愛媛県6件、秋田県5件、千葉県3件、奈良県2件など)、サポウイルスが3都府県から5件(愛媛県3件、東京都、三重県各1件)報告されている。

ノロウイルス検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html> を参照ください。





## チクングニア熱の2例

フィリピンおよびカンボジアから帰国後のチクングニア熱の症例を経験したため報告する。

### 症例1

患者は生来健康な19歳のフィリピン人女性、主訴は発熱、発疹、関節痛であった。14歳から東京都内に在住しているが、2012年9月14日～19日まで親戚に会うためにフィリピンのマニラに渡航していた。現地では防蚊対策はしておらず、何度か蚊に刺されたという。9月24日の朝から倦怠感があり、昼頃から腹部、背部、腕に皮疹が出現していることに気づいた。その後も発熱が持続し関節痛が強くなってきたため9月25日に国立国際医療研究センター救急外来を受診した。

来院時、バイタルサインは体温39.0、血圧110/71 mmHg、脈拍数125/分、呼吸数18回/分であった。身体所見は関節腫脹は認めず、鼻周囲および腹部、背部に紅斑を認めた。その他異常所見を認めなかった。血液検査ではWBC 5,860/ $\mu$ l、Hb 14.2 g/dl、Plt 20.0万/ $\mu$ l、CRP 1.26 mg/dl、AST 19 IU/L、ALT 12 IU/Lであった。

フィリピン帰国後の発疹を伴う発熱であり、デング熱またはチクングニア熱が考えられたため、国立感染症研究所にてウイルス学的診断を依頼した。9月25日の血清からチクングニアウイルス遺伝子が検出され、チクングニアウイルスも分離された。また10月3日の血清ではチクングニアウイルス特異的IgM抗体が陽性(P/N ratio=5.7、P/N比は2.0以上を陽性と判定)となった。以上より、チクングニア熱と診断し、保健所に届出を行った。なお、いずれの血清でもデングウイルスIgG抗体が陽性であったが上昇傾向が認められず、IgM抗体も検出されなかったことから、過去のデングウイルス感染あるいは日本脳炎抗体との交差反応と考えられた。患者は27日には解熱し、関節痛および発疹も消退した。

### 症例2

患者は19歳の生来健康な日本人女性、主訴は顔面の皮疹であった。2012年9月11日～23日までカンボジアのシェムリアップ、プノンペン、バタンバンに観光旅行のため渡航した。渡航前にA型肝炎ワクチンを接種しており、現地では防蚊対策として日本国内で購入した虫除けスプレーを使用していた。9月27日から38度の発熱と発疹が出現したため近医を受診した。

この際、37.0度の発熱と頸部リンパ節腫脹、眼球結膜充血を認め、体幹・四肢・顔面・手掌・足底までの紅斑丘疹が観察された。近医受診時の血液検査ではWBC 3,600/ $\mu$ l、Hb 15.6 g/dl、Plt 22.9万/ $\mu$ l、CRP 0.27 mg/dl、AST 20 IU/L、ALT 13 IU/Lであった。その後、自宅で経過観察とされ自然解熱し皮疹もほぼ消失したが、渡航後感染症の精査加療目的で10月3日に国立国際医療研究センター・国際感染症センターに紹介となった。

当院受診時、発疹は顔面に残っているのみであり発熱も認めなかった。その他、身体所見に異常を認めなかった。当院受診時の血液検査では、WBC 5,060/ $\mu$ l、Hb 14.2 g/dl、Plt 16.3万/ $\mu$ l、CRP 0.13 mg/dl、AST 51 IU/L、ALT 49 IU/Lであった。

カンボジア帰国後の発疹を伴う発熱であり、デング熱またはチクングニア熱が考えられたため、国立感染症研究所にてウイルス学的診断を依頼した。10月3日の血清にてチクングニアウイルス特異的IgM抗体が陽性(P/N ratio=3.24、P/N比は2.0以上を陽性と判定)となり、チクングニア熱と診断した。なお、デング熱の抗体検査はIgM、IgGともに陰性であった。当院受診時すでに解熱していたため、保健所に届出を行い経過観察とした。発疹はその後、自然消退した。

チクングニア熱はトガウイルス科アルファウイルス属に属するチクングニアウイルスによる感染症である。ネッタイシマカ、ヒトスジシマカなどに刺されることで感染する。潜伏期間は3～12日(通常3～7日)であり、発熱・頭痛・筋肉痛・関節痛・発疹を特徴とする。症状はデング熱と似ているが、チクングニア熱の方がデング熱より関節痛が強いという特徴がある。症例1では「重い荷物を運ぶことが困難なくらい」の強い関節痛の訴えがあった。しかし症例2のように関節痛が認められないこともある。流行地域もデング熱と重なっており、病歴・臨床症状や渡航地だけで両者を鑑別することは困難である。本邦では2006年に初めて報告されて以降、年間数例の報告にとどまっていたが、近年増加傾向にある。当院でもこれまで6例の報告があり<sup>1)</sup>、渡航国はすべて東南アジア・南アジアであった。

チクングニア熱を媒介するヒトスジシマカは本邦にも生息しており、海外でチクングニア熱を発症した患者が帰国後にヒトスジシマカに吸血されることで感染サイクルが生まれ、国内で流行する可能性があり危惧されている。実際にイタリアでは、2007年に国外でチクングニア熱に感染した患者からチクングニアウイルスが輸入され、国内で流行するといった事例がみられた。

チクングニア熱はまだまだ認識が不十分な感染症であり、国内での流行を防ぐためには医療従事者に本感染症についての啓発を行うことが重要である。

#### 参考文献

- 1) Mizuno Y, Kato Y, Takeshita N, *et al.*, Clinical and radiological features of imported chikungunya fever in Japan: a study of six cases at the National Center for Global Health and Medicine, *J Infect Chemother* 17( 3 ): 419-423, 2011

国立国際医療研究センター・国際感染症センター

忽那賢志 竹下 望 氏家無限 早川佳代子 加藤康幸 金川修造 大曲貴夫

( IASR 2012年12月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

\*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### 新種のコロナウイルス感染症について(更新3)

2012年11月23日 WHO( GAR )

11月23日に公表されたWHOの情報によりますと、WHOは新種のコロナウイルスに感染した患者が新たに4人(このうち1人が死亡)発生したとの報告を受けました。患者はサウジアラビア(死亡者1人を含む3人)とカタール(1人)の強化サーベイランスの中で確認されました。これまでの確定患者は6人となりました。

感染源となりそうな原因や感染経路、人から人への伝播の可能性を調べるために、疫学、臨床管理、ウイルス学の領域で調査が続けられています。最近、確定された患者の濃厚接触者は特定され、経過観察されています。

これまでに、疫学的な関連性がみられたのは、最近、サウジアラビアで確定された2人の患者のみです。この2人は同居家族です。初動調査では、この2人の症状は似ていました。1人は死亡しましたが、もう1人は回復しました。

さらに、この家族で、別の2人に同様の症状がみられ、1人は死亡し、もう1人は回復しました。回復した人の検査結果では、新種のコロナウイルスは陰性でしたが、死亡した人の検査結果は保留とされています。

WHOは、新種のコロナウイルスと、ウイルスによる感染症の特徴をさらに解明するために、サウジアラビア政府、カタール政府、その他の国際保健の関係機関と連携して対応しています。ウイルスの特性を解明するためには、さらなる疫学的・科学的な研究が必要です。

WHOは、加盟国に対し、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを継続するように奨励しており、現在、新種のコロナウイルスに関する症例定義とガイダンスを再検討しています。さらに詳細な情報が得られるまでは、ウイルスが、確定患者が確認されている2か国のみならず広範囲に広がっているかもしれないと考えるのが賢明です。加盟国は、この2か国への渡航歴やその他の関連性がなくても、原因不明の肺炎患者には新種のコロナウイルスの検査を検討すべきです。さらに、重症急性呼吸器感染症の集団発生や、医療従事者の重症急性呼吸器感染症の患者発生は、世界のどこで起こったとしても、完全に調査すべきです。

WHOに報告された確定患者6人のうち4人(このうち2人は死亡)はサウジアラビア、2人はカタールから報告されています。

### ウガンダでエボラ出血熱が発生しています(更新1)

2012年11月23日 WHO( GAR )

11月23日付で世界保健機関( WHO )から公表された情報によりますと、ウガンダ保健省は、ウガンダ中部のルウェロ( Luweero )とカンパラ( Kampala )でエボラ出血熱の患者10人(確定患者6人、疑い患者4人)が発生し、このうち5人が死亡したと報告しています。

最後に確定された患者は、11月17日に入院しました。患者への濃厚接触者は特定され、21日間経過観察されます。実地の対応チームに警告された患者はすべて調査されています。

WHOと米国疾病予防管理センター、国境なき医師団、ウガンダ赤十字社、アフリカ実地疫学ネットワーク、プラン・ウガンダなどの関係機関が、保健当局の対応を支援しています。

対応を支援するため、Global Outbreak Alert and Response Network( GOARN )を通じて、実地疫学、啓発、物資調達管理、感染予防・制御の専門家が動員されています。

WHOはウガンダへの渡航や貿易を制限することを推奨していません。

ウガンダでマールブルグ病が発生しています( 更新3 )

2012年11月23日 WHO( GAR )

11月23日に公表されたWHOの情報によりますと、ウガンダでは、11月23日時点で、マールブルグ病の確定患者または疑い患者を合わせて20人が報告されており、このうち9人が死亡しています。患者は、南西部のカバレ( Kabale )、イバンダ( Ibanda )、ムバララ( Mbarara )、首都のカンパラ( Kampala )の4地域で報告されています。

最後に確定された患者は、10月31日に入院しました。

保健省は、積極的なサーベイランスと4地域で通報されたすべての患者の調査を継続しています。マールブルグ病の患者の濃厚接触者は、21日間経過観察されます。

WHOと、米国疾病予防管理センター、ウガンダ赤十字社、アフリカ実地疫学ネットワーク、プラン・ウガンダ、国境なき医師団などの国際的な関係機関が、保健省のアウトブレイクの調査と対応を支援しています。実地の対応チームを強化するために、GOARN( Global Outbreak Alert and Response Network )を通じて専門家が派遣されました。

医療従事者への感染予防・制御、実地の情報管理などのトレーニングが進められています。マールブルグ病の予防や、感染拡大防止に関する意識を高めるため、社会的動員活動が行われています。

このアウトブレイクに対し、WHOはウガンダへの渡航制限や貿易の制限を推奨しません。

スーダンで黄熱の患者が発生しています( 更新6 )

2012年11月23日 WHO( GAR )

11月23日付で世界保健機関( WHO )東地中海事務所( EMRO )から公表された情報によりますと、11月21日時点で、黄熱の患者数は537人となり、このうち127人が死亡しています( 致死率は23.6%です )。黄熱の患者が発生している地域は、中央ダルフール、南ダルフール、西ダルフール、北ダルフール、東ダルフールの30地域に広がっています。WHO本部とEMROからの派遣団は、スーダンの連邦保健省と州の保健省とともに、黄熱の疫学的な状況と広がりを評価するために現地調査を行っています。この評価は、患者が発生している地域とその周辺地域で、次の介入方法を識別するために有用なものとなるでしょう。さらに、採取された検体の解析と支援するために、エジプトのカイロに拠点を置く米海軍医学研究部隊( NAMRU-3 )からチームが派遣され、国立公衆衛生研究所で11月24日から実地訓練も始まりました。

スーダンの連邦保健省は関係機関と連携して、12日間にわたる緊急的集団予防接種キャンペーンを開始し、ダルフールの指定接種場所には何千人もの住民が集まりました。この予防接種キャンペーンは、優先地域とされた12地域の約220万人の住民が対象です。この予防接種キャンペーンは、黄熱ワクチンの提供に関する国際調整グループ( YF-ICG )、中央緊急対応基金( CERF )、国際的な非政府組織によって支援されています。

インフルエンザ - 更新173

2012年11月23日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域では、インフルエンザウイルスの検出数が増加していると報告していますが、季節性の流行閾値を超えた国や、流行シーズン入りを公表した国はありません。
- ・南アジアと東南アジアでは、カンボジアを除き、インフルエンザの検出数が減少していると報告されています。カンボジアでは、少なくとも6週間、インフルエンザA( H3N2 )の検出数が増加したと報告されています。
- ・サハラ以南のアフリカでは、カメルーンでインフルエンザA( H3N2 )の流行が続いていますが、ピークに達したようであり、検出される割合は減少しています。エチオピアとガーナでは、インフルエンザA( H1N1 )pdm09の増加が報告されていますが、マダガスカル、ケニア、トーゴでは、主にインフルエンザB型が低い水準で伝播しています。
- ・インフルエンザの活動性はシーズンオフの水準です。

【北半球の温帯地域】

北半球の温帯地域では、インフルエンザの検出数が増加し続けており、インフルエンザ様疾患( ILI )の割合や検査された検体のインフルエンザ陽性率も増加していると報告されています。しかし、季節性の流行閾値を超えた国や、流行シーズン入りを公表した国はありません。

・北米

米国南部の数州とカナダのオンタリオでインフルエンザの活動性が増加したと報告されています。

カナダでは、オンタリオでインフルエンザの活動性が増加したと報告されていますが、他の地域では報告されていません。国全体では、外来患者に占めるILIの割合は、1.9%であり、前週の2.2%に比べて若干減少しましたが、少なくとも過去6週間は全体的に上昇傾向が続いています。インフルエンザウイルスが陽性となった臨床検体の割合は、前週に2.8%から5%に増加しました。インフルエンザの集団発生は8件発生し、そのうちの5件は長期療養施設、3件はその他の施設で発生しました。ウイルスが検出された検体のうち、92%( 106検体中87検体 )はインフルエンザA型で、8%はインフルエンザB型でした。亜型の情報が得られたインフルエンザA型のうち、91%がインフルエンザA( H3N2 )で、9%がインフルエンザA( H1N1 )pdm09でした。

米国では、ILIの受診率は1.4%で、季節性の流行閾値( 2.2% )を下回っています。4,147検体のうち7.5%がインフルエンザ陽性でした。4州でインフルエンザが州の全域に広がり、8州で局地的に発生しており、コロンビア特別区と32州では散発的に発生していると報告されています。インフルエンザ陽性検体のうち56%がインフルエンザA型で、44%がインフルエンザB型でした。亜型の情報が得られたインフルエンザA型のうち、98%がインフルエンザA( H3N2 )でした。

10月以降、米国疾病予防管理センターは77株のインフルエンザウイルスの抗原解析を行いました。インフルエンザA( H3N2 )の41株は、すべて、現在使用されている季節性の3価ワクチンに含まれるA/Victoria/361/2011-likeでした。解析されたインフルエンザB型ウイルスの35株のうち、24株はB/Wisconsin/1/2010-like( 山形系統 )であり、11株はビクトリア系統でした。

・ヨーロッパ

全体としては、インフルエンザの検出数は低く、シーズンオフの水準です。しかし、オーストリア、ベルギー、チェコ、フィンランド、フランス、ドイツ、ノルウェー、英国では散発的な活動性が報告されています。ILIと急性呼吸器感染症(ARI)の受診率は低い水準が続いていますが増加し、広がり始めています。しかし、定点医療機関で採取されたILI患者の検体のインフルエンザ陽性率が低いので、おそらく、インフルエンザよりも他の呼吸器感染症を起こすウイルスによるものと考えられています。

定点医療機関で採取された検体のインフルエンザ陽性率は、依然として低いですが、増加しており、608検体のうち14検体(2.3%)が陽性でした。インフルエンザA型は10検体で、このうち5検体がインフルエンザA(H3N2)でした。また、インフルエンザB型は4検体でした(系統不明)。定点医療機関以外で採取された検体のうち、81検体がインフルエンザ陽性であり、46検体がインフルエンザA型で、35検体がインフルエンザB型でした。インフルエンザA型の検体で亜型が解析された28検体のうち、7検体がインフルエンザA(H3N2)、21検体がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。

報告された重症急性呼吸器感染症(SARI)の患者で、インフルエンザが陽性になった患者はいませんでした。

・アフリカ北部と地中海東部

中東諸国では、インフルエンザの活動性が多少みられています。バーレーン、イスラエル、オマーン、カタールでは、過去2週間から3週間にウイルスの検出数が増加したと報告されています。検出されたウイルスの型や亜型は、国によって若干異なっており、検出数も少ないですが、この地域では、全体的にインフルエンザA(H1N1)pdm09が最も多く検出されています。

・アジア北部

中国北部では、インフルエンザの活動性は非常に低く、インフルエンザが陽性になった検体は、922検体のうち26検体(2.8%)のみです。そのうち96%はインフルエンザA(H3N2)でした。モンゴルでは、特にセレンゲ県でILIの活動性が増加し続けています。モンゴルで報告されたILI患者の大部分は、インフルエンザウイルス以外のウイルスによるものでしたが、インフルエンザ陽性検体数は増加しており、主にインフルエンザA(H3N2)でした。日本では、インフルエンザB型陽性検体が2検体のみ報告されています(系統不明)。

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域

コスタリカとニカラグアで、インフルエンザB型とインフルエンザA(H3N2)の活動性がみられています。最近の数週間でピークに達しました。コスタリカ、ホンジュラス、パナマでは、RSウイルスの活動性もみられています。

カリブ海では、ジャマイカで、インフルエンザB型ウイルスの伝播が増加し、インフルエンザ陽性検体の割合も高くなっています。グアドループとマルティニークでは、RSウイルスの流行は減少し続けています。

南米の熱帯地域では、インフルエンザの活動性は減少し続けており、ウイルス検出数も少数であると報告されています。ブラジルでは、インフルエンザの活動性は全体的に減少しており、主に検出されているウイルスはインフルエンザA(H3N2)です。パラグアイでは、インフルエンザB型

ウイルスとインフルエンザA(H3N2)ウイルスがともに低い水準で報告されています。

・ サハラ以南のアフリカ

カメルーンでは、依然として、主にインフルエンザA(H3N2)が流行していますが、ピークに達したようであり、検出割合は減少しました。エチオピアとガーナでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09の増加が報告されていますが、マダガスカル、ケニア、トーゴでは、主にインフルエンザB型が低い水準で伝播しています。

・ アジアの熱帯地域

アジアの熱帯地域では、インフルエンザの伝播が続いていると報告されています。

インドでは、インフルエンザの検出数は9月中旬にピークに達した後、減少し続けていると報告されています。インドで最も多く検出されたインフルエンザウイルスはインフルエンザA(H1N1)pdm09であり、インフルエンザB型を上回りました。一方、スリランカでは、インフルエンザの検出数は若干増加しており、インフルエンザA(H3N2)が高い割合を占めていますが、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型も同時に流行しています。

南アジアでは、ラオス、タイ、ベトナムで、インフルエンザ陽性検体数が減少したと報告されていますが、カンボジアでは増加したと報告されています。最も多く検出されているウイルスは国によって異なり、カンボジアではインフルエンザA(H3N2)ですが、ラオスとタイではインフルエンザA(H1N1)です。この地域の他の国とは対照的に、ベトナムでは、最近数週間、主にインフルエンザB型が検出されており、インフルエンザA型ウイルスは非常に少数であると報告されています。

フィリピン、シンガポール、香港を含む中国南部では、インフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準です。

【南半球の温帯地域】

南半球の温帯地域では、すべての国で、インフルエンザの活動性が減少し続けており、現在、シーズンオフの水準です。活動性がみられているのは南米の南回帰線以南の地域で、チリでは、7月上旬頃にピークに達したインフルエンザA(H3N2)優勢のシーズン後に、インフルエンザB型の伝播による小さな第二波を報告しています。



## 感染症の話

\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>  
でご覧いただけます。

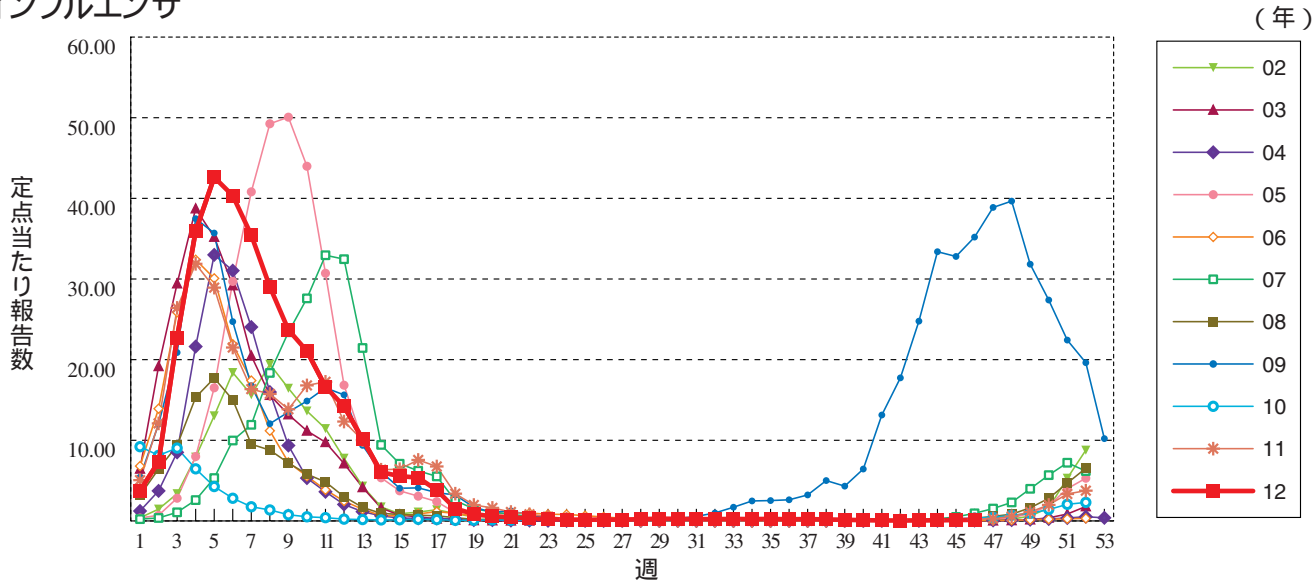
\*\*\*\*\*



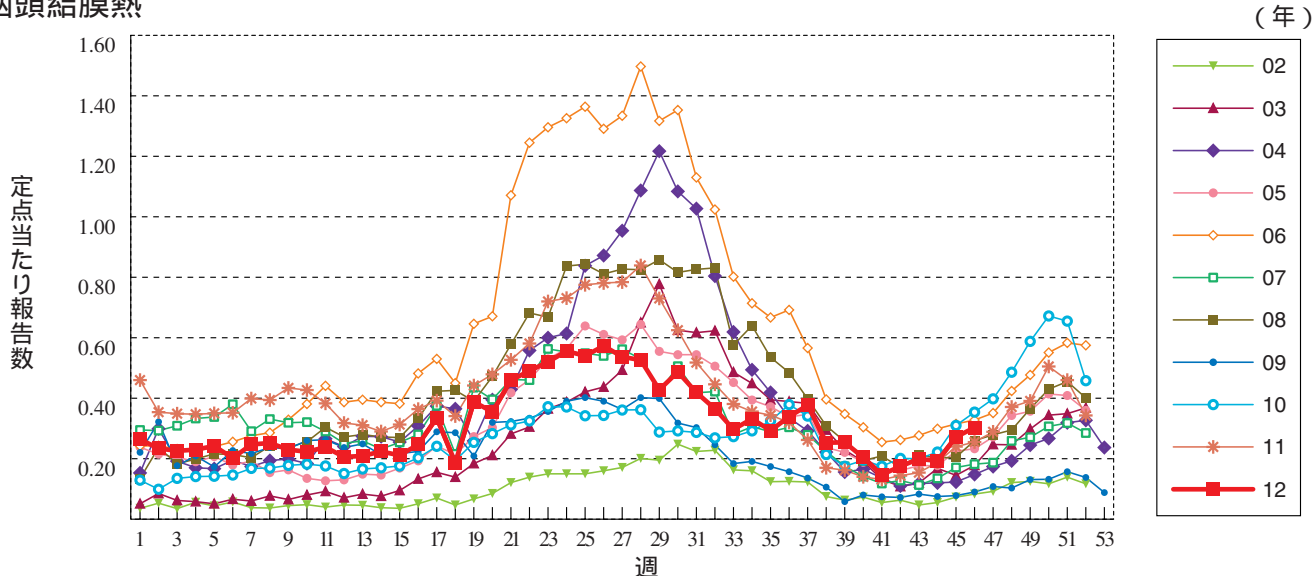


**グラフ総覧( 46週 )**

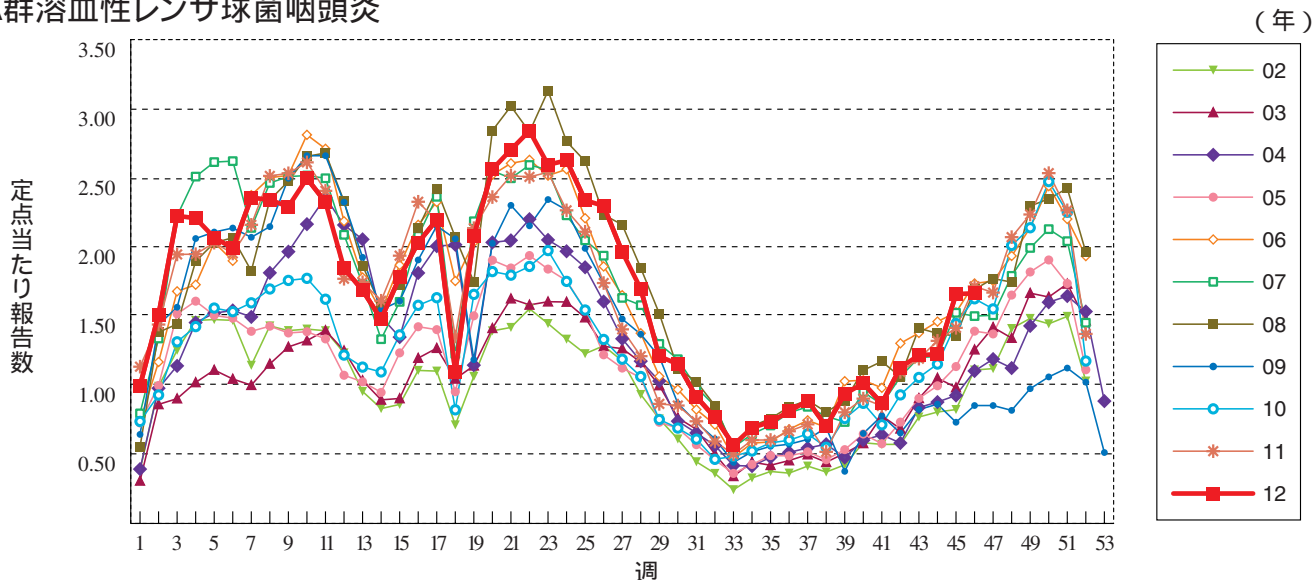
**インフルエンザ**



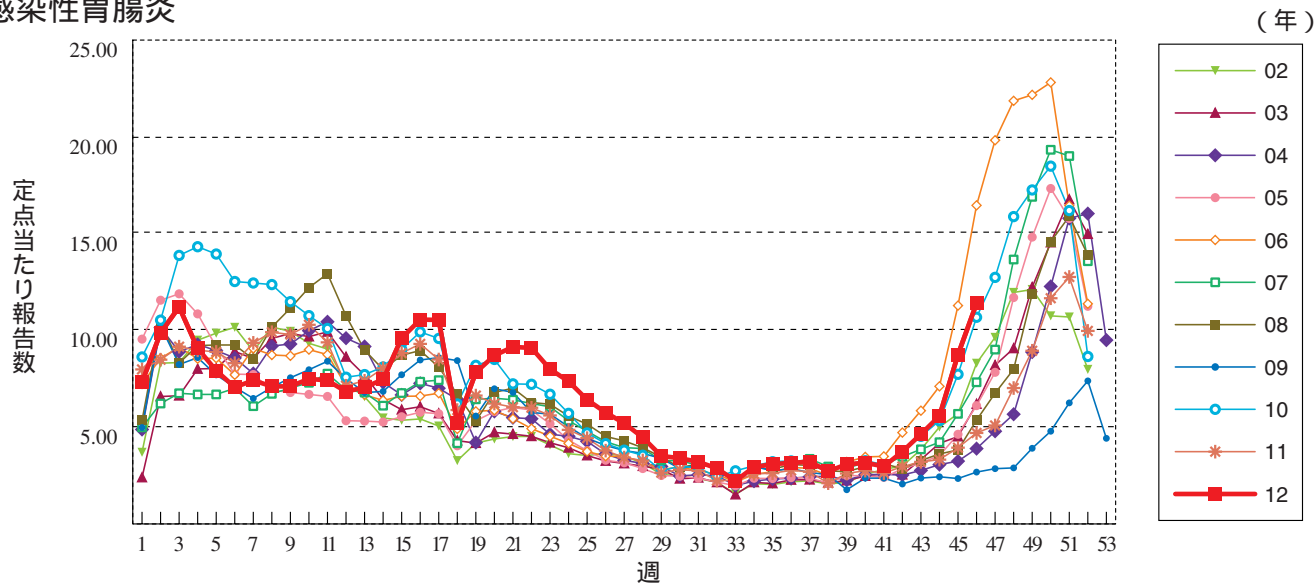
**咽頭結膜熱**



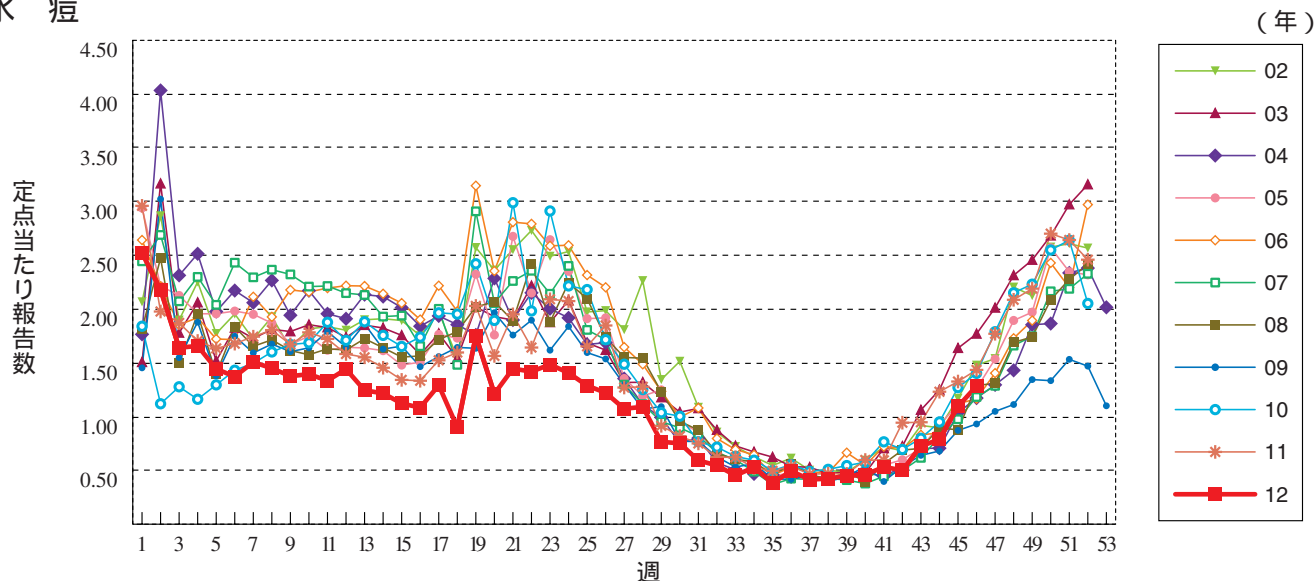
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



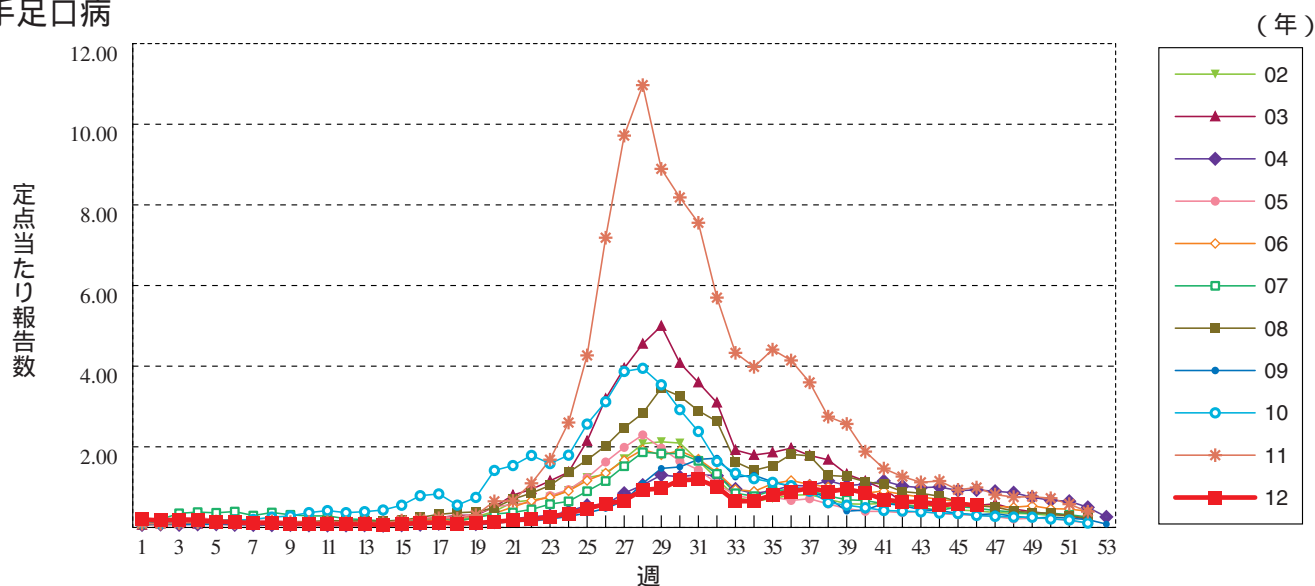
感染性胃腸炎



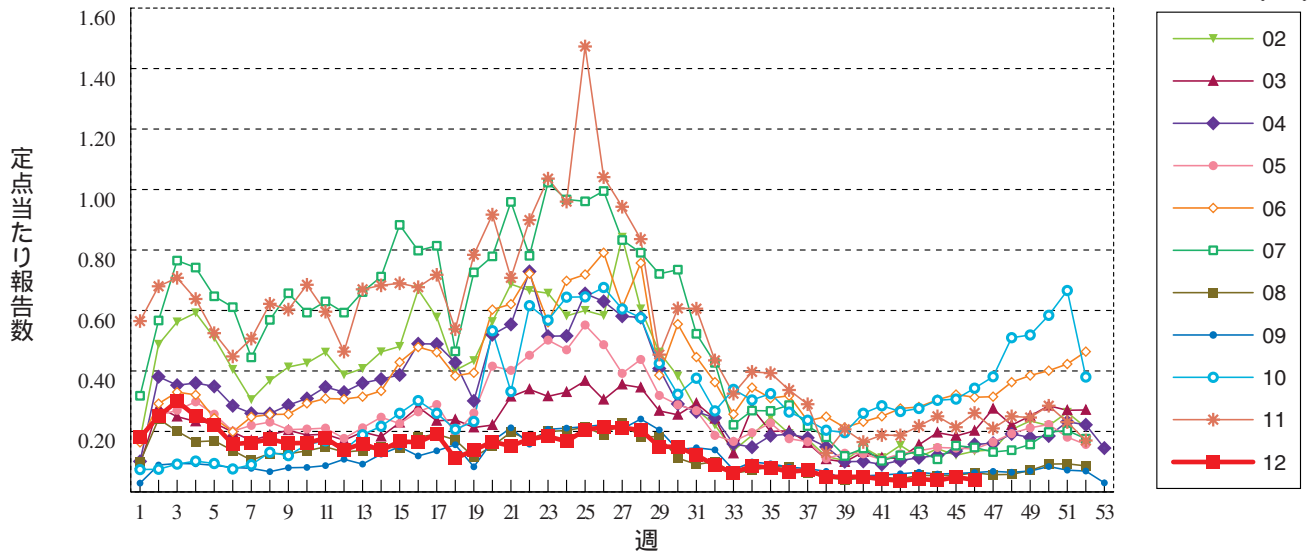
水痘



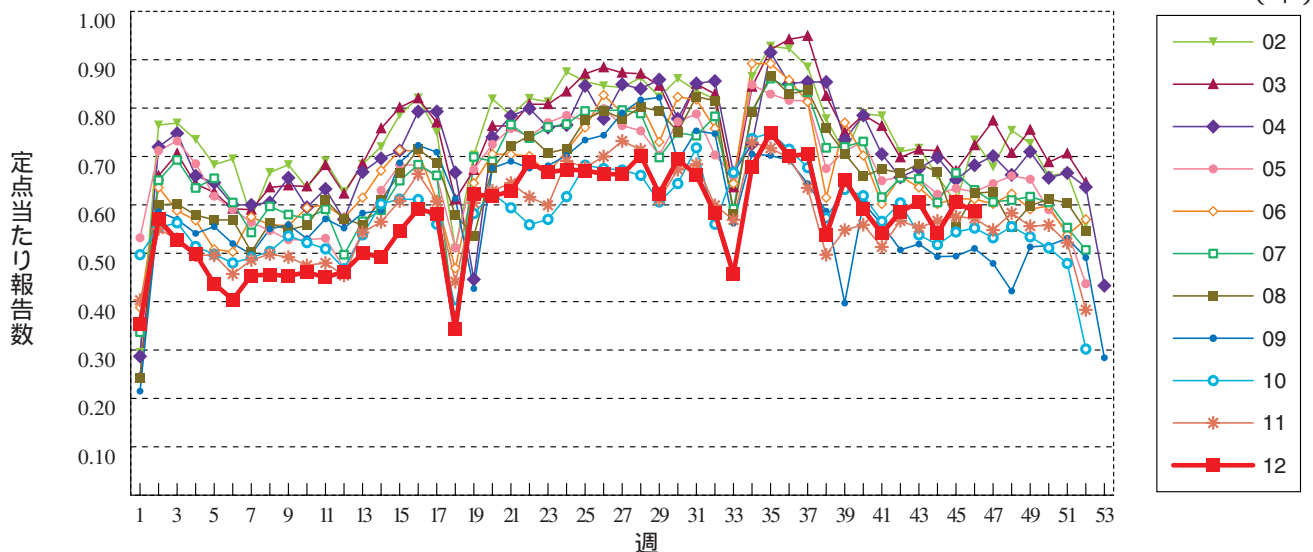
手足口病



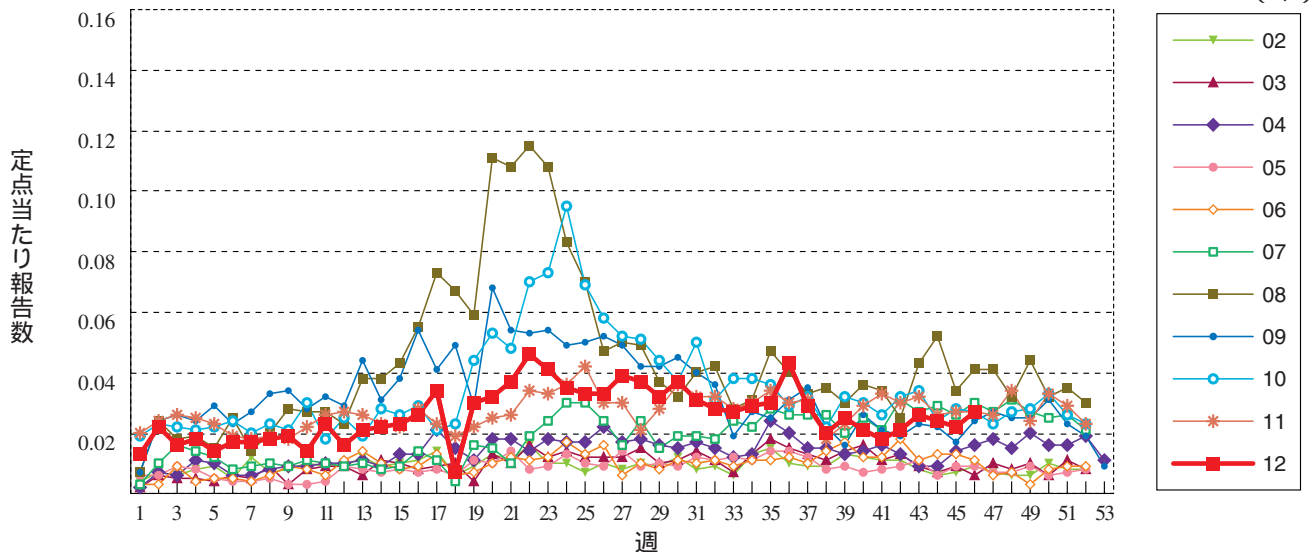
伝染性紅斑



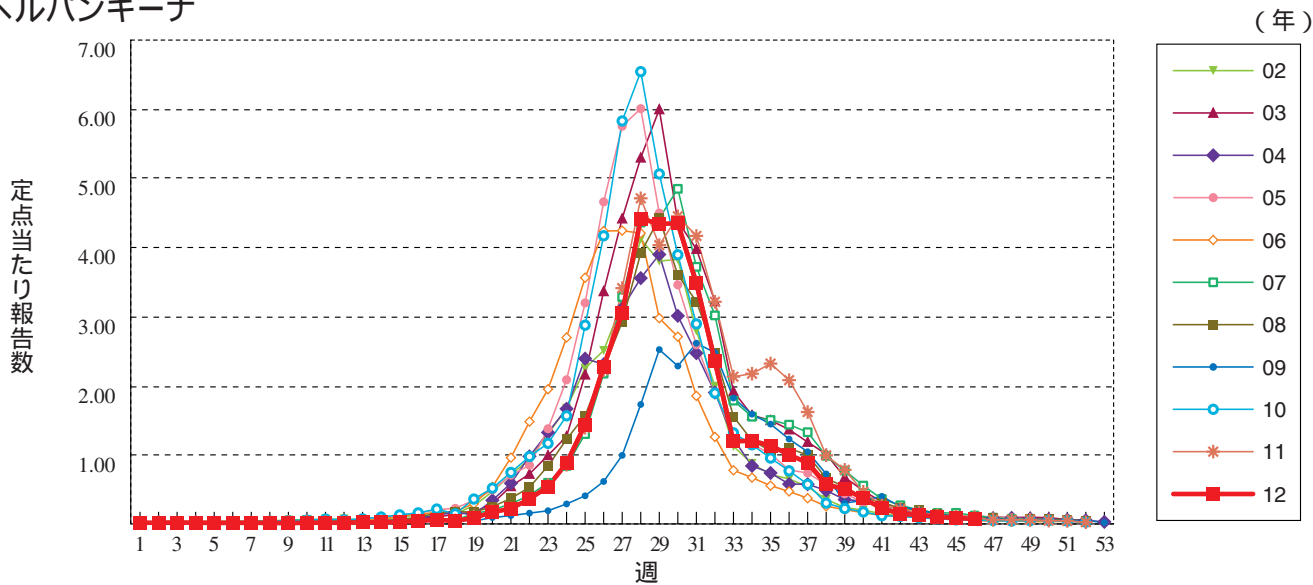
突発性発しん



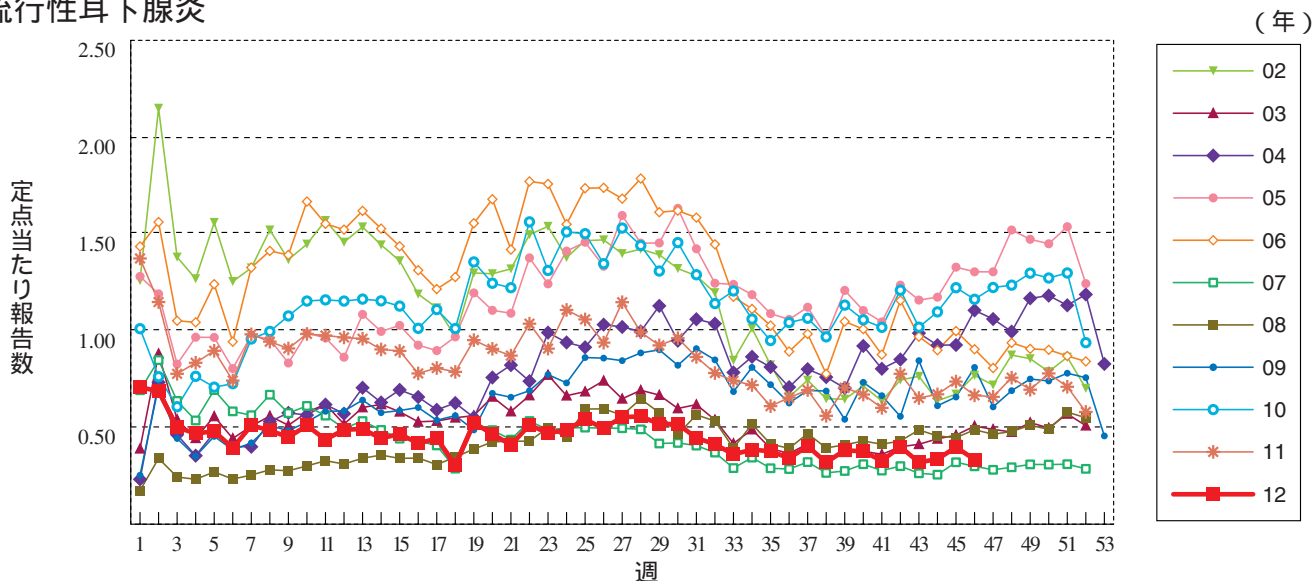
百日咳



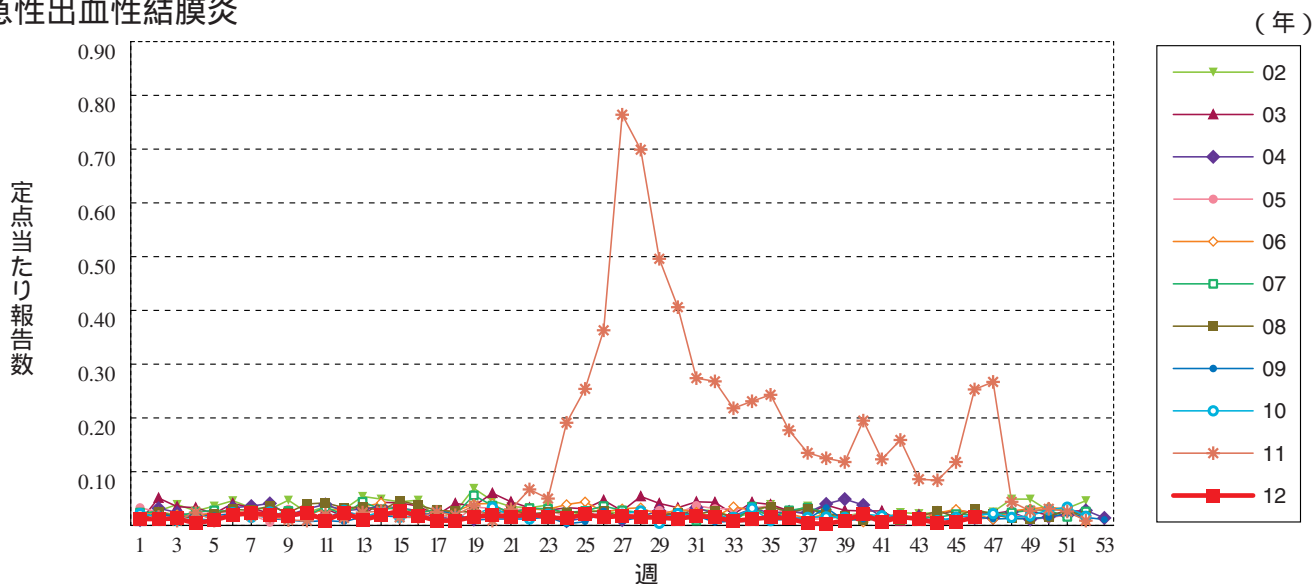
### ヘルパンギーナ



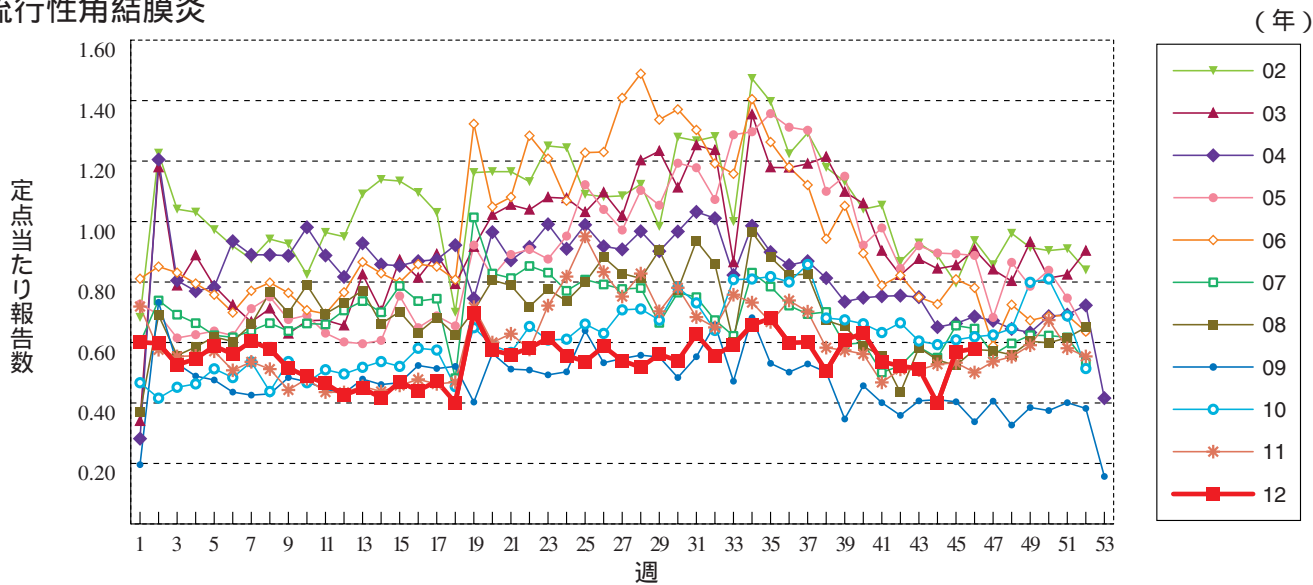
### 流行性耳下腺炎



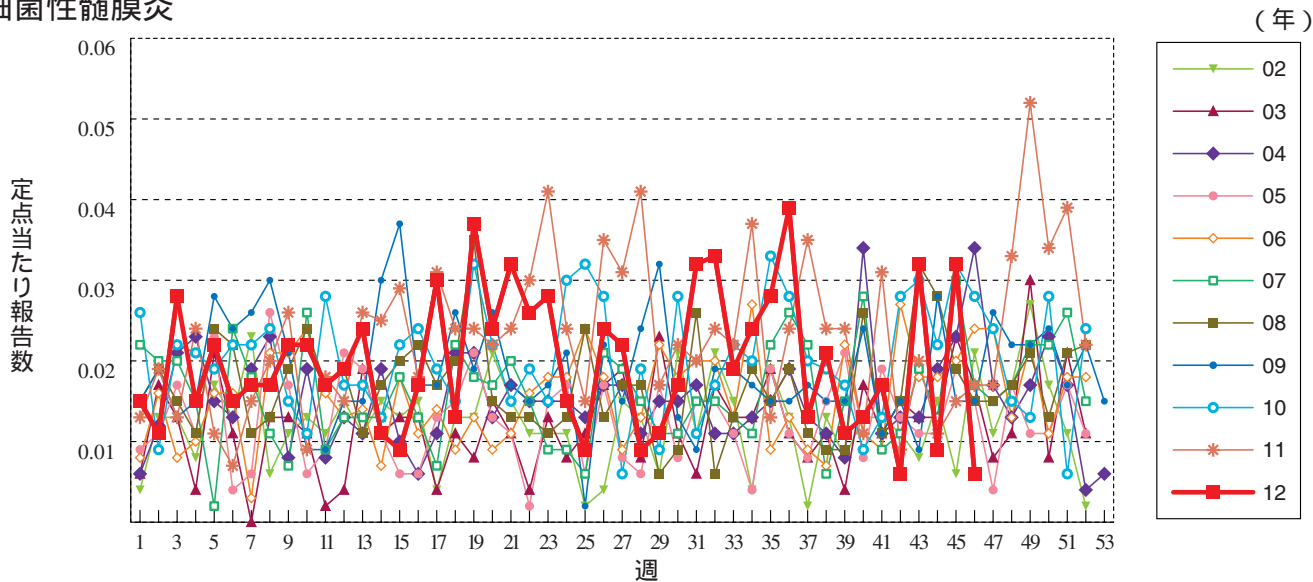
### 急性出血性結膜炎



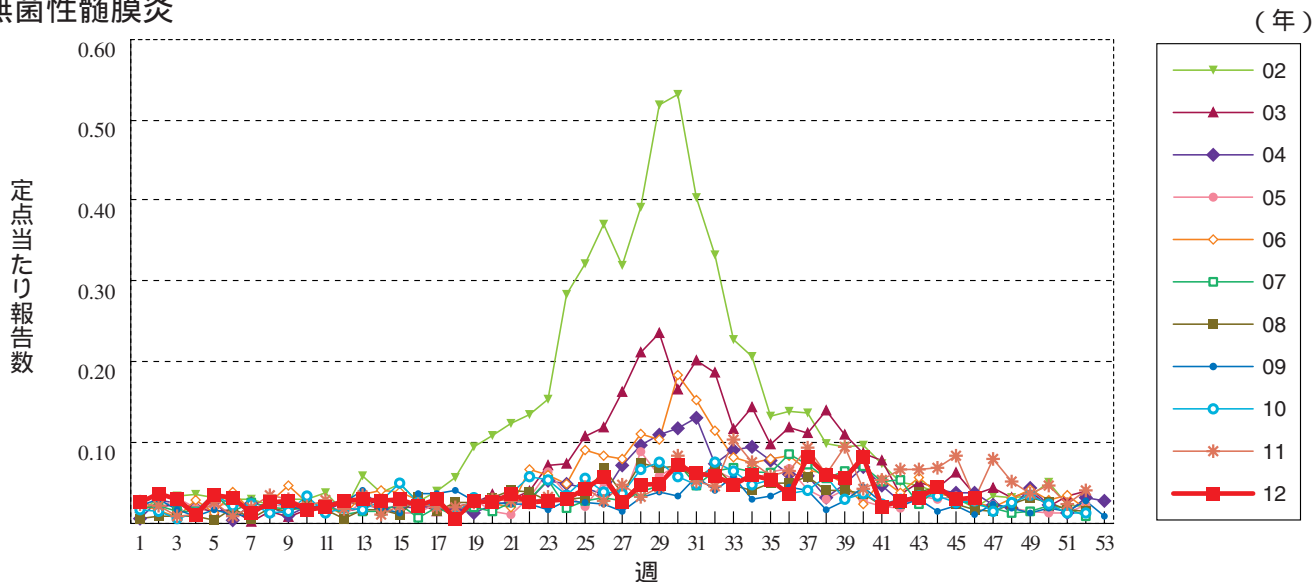
流行性角結膜炎



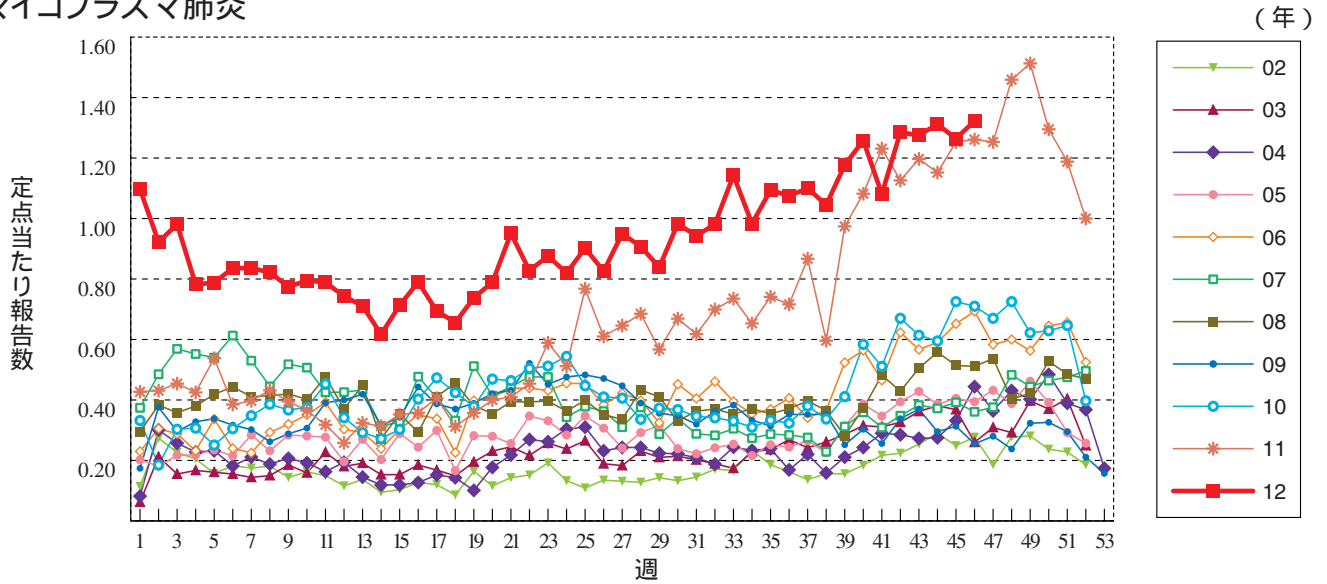
細菌性髄膜炎



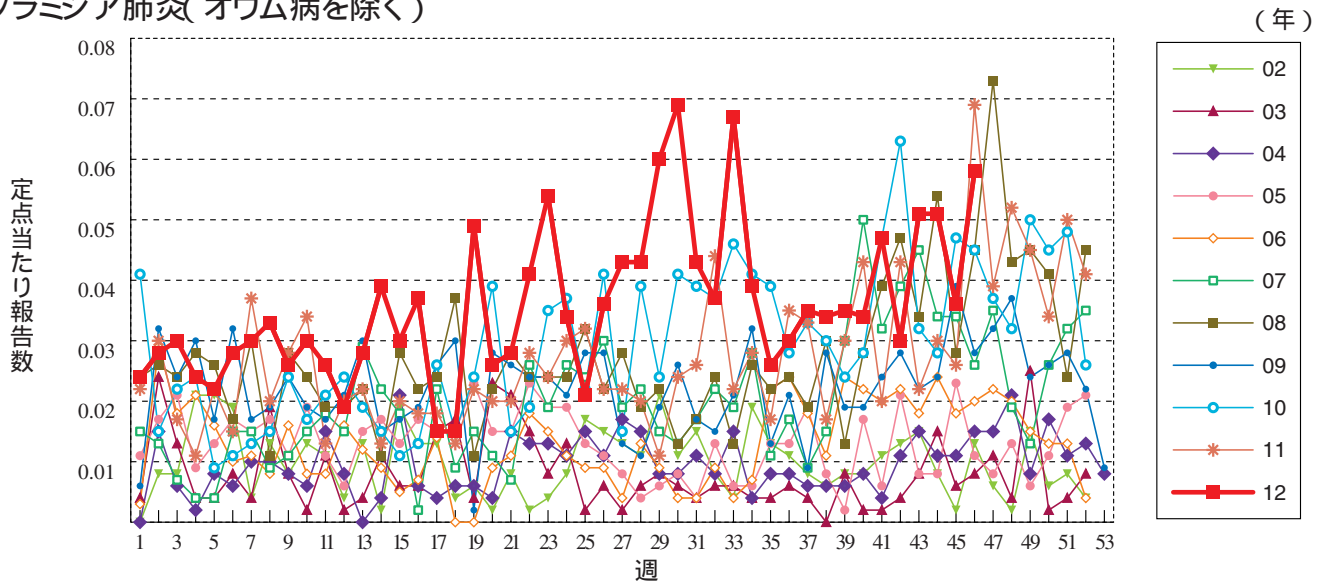
無菌性髄膜炎



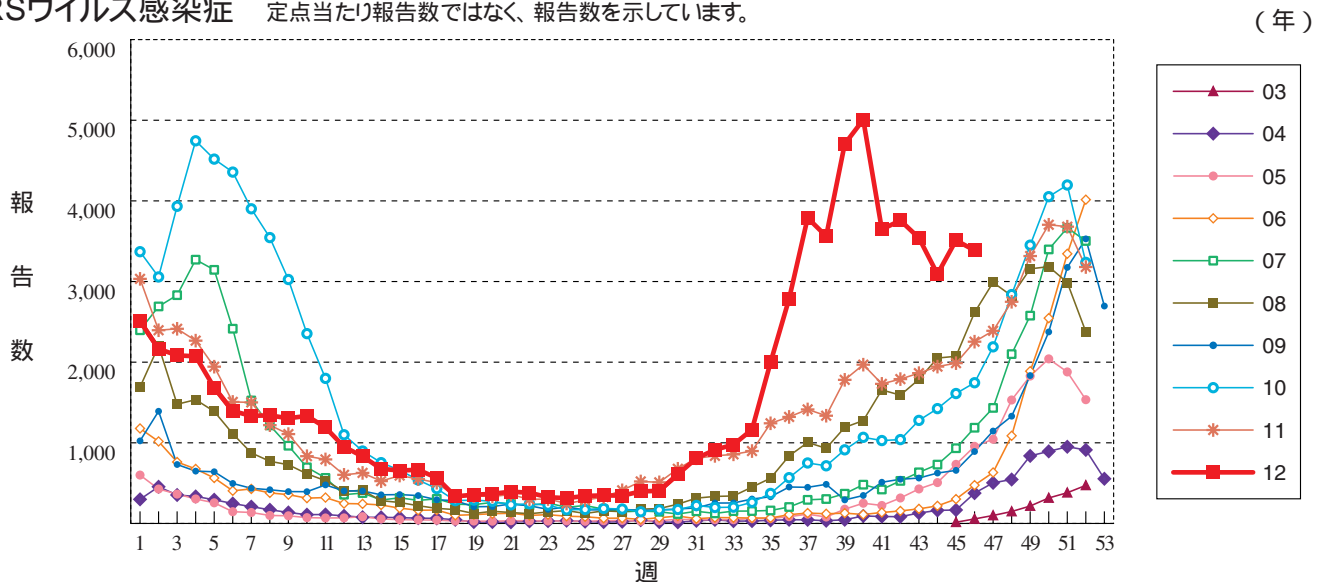
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎( オウム病を除く)



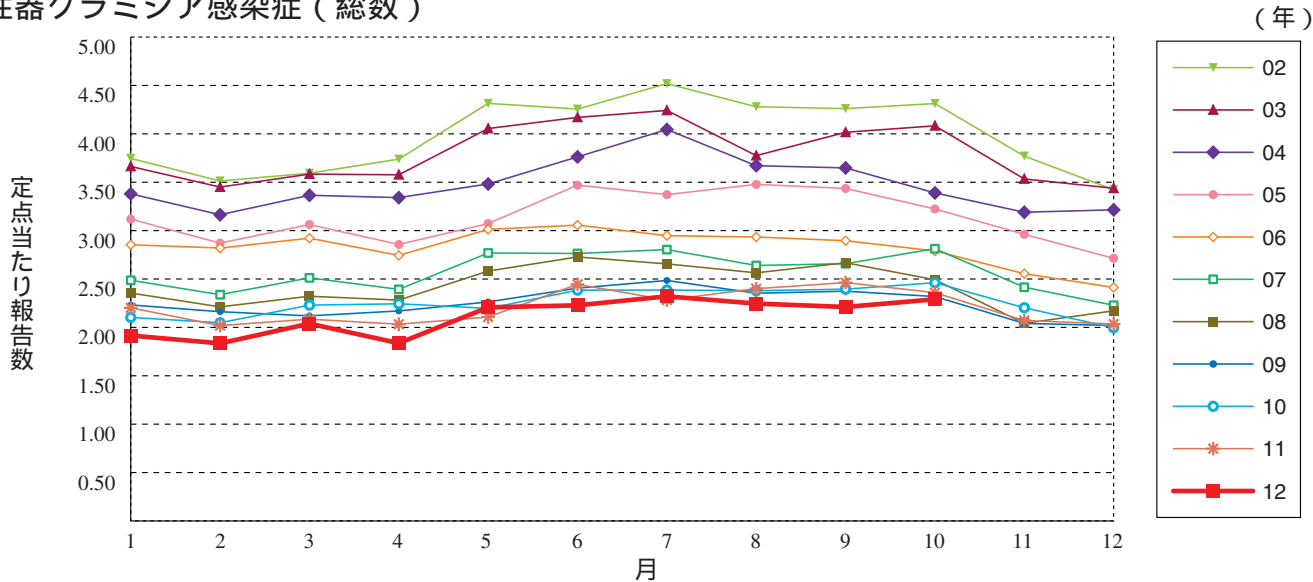
RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。



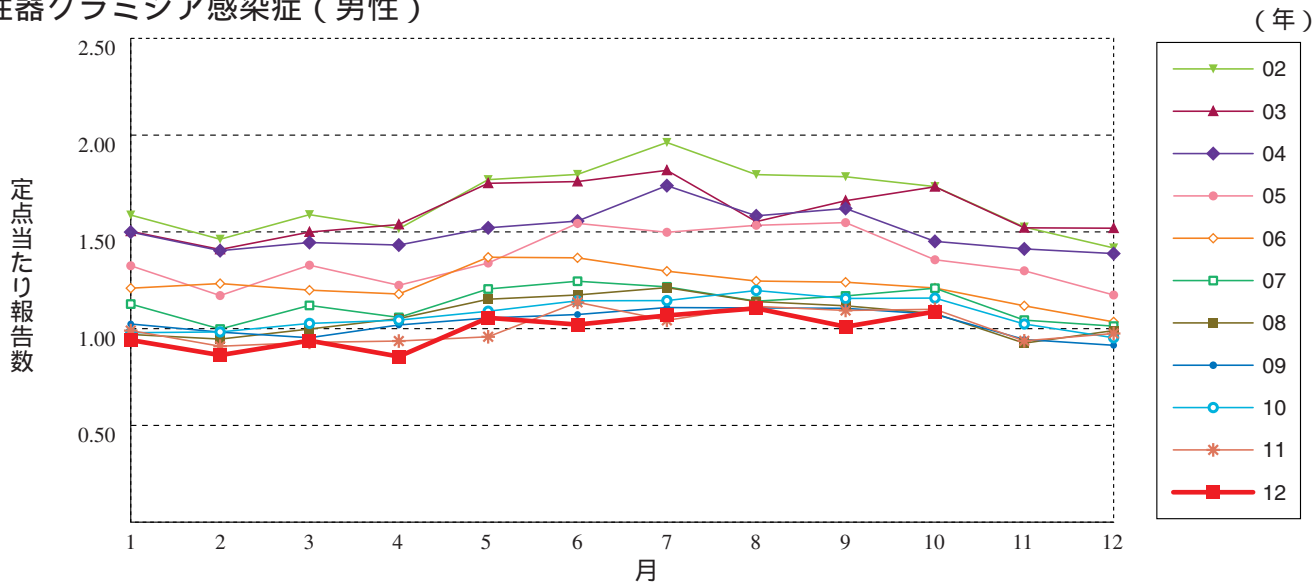


### グラフ総覧( 10月 )

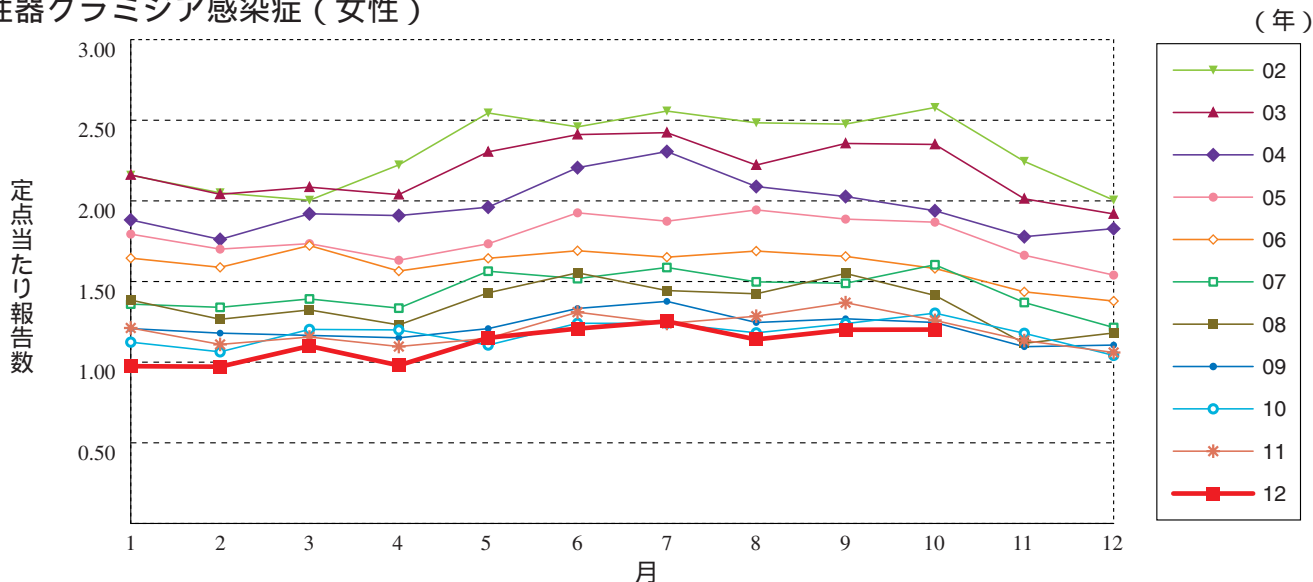
性器クラミジア感染症 ( 総数 )



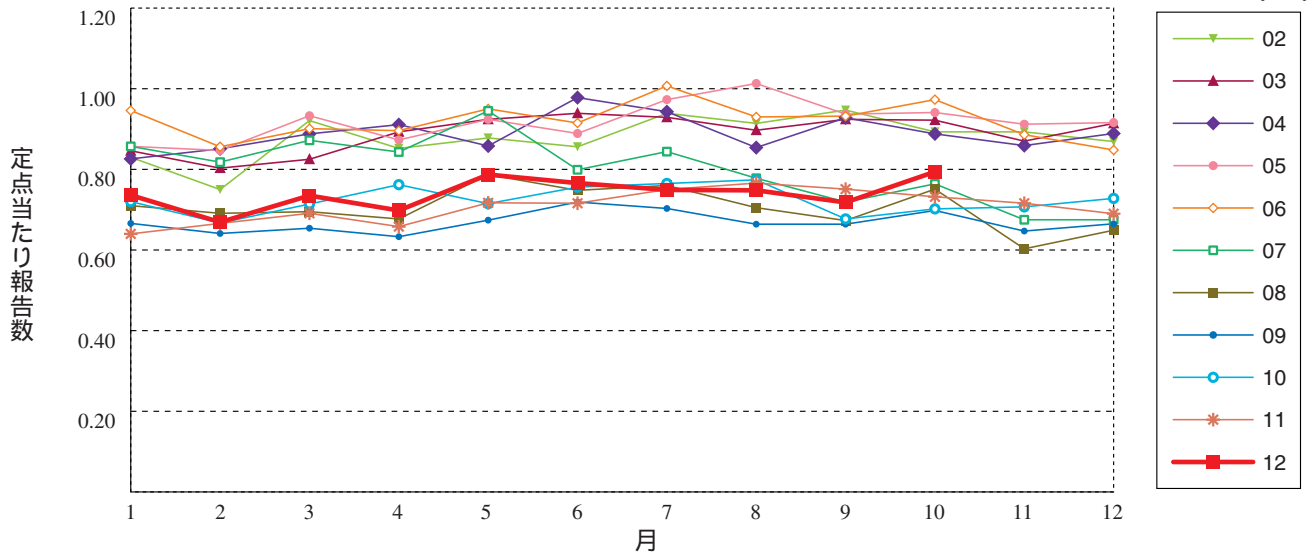
性器クラミジア感染症 ( 男性 )



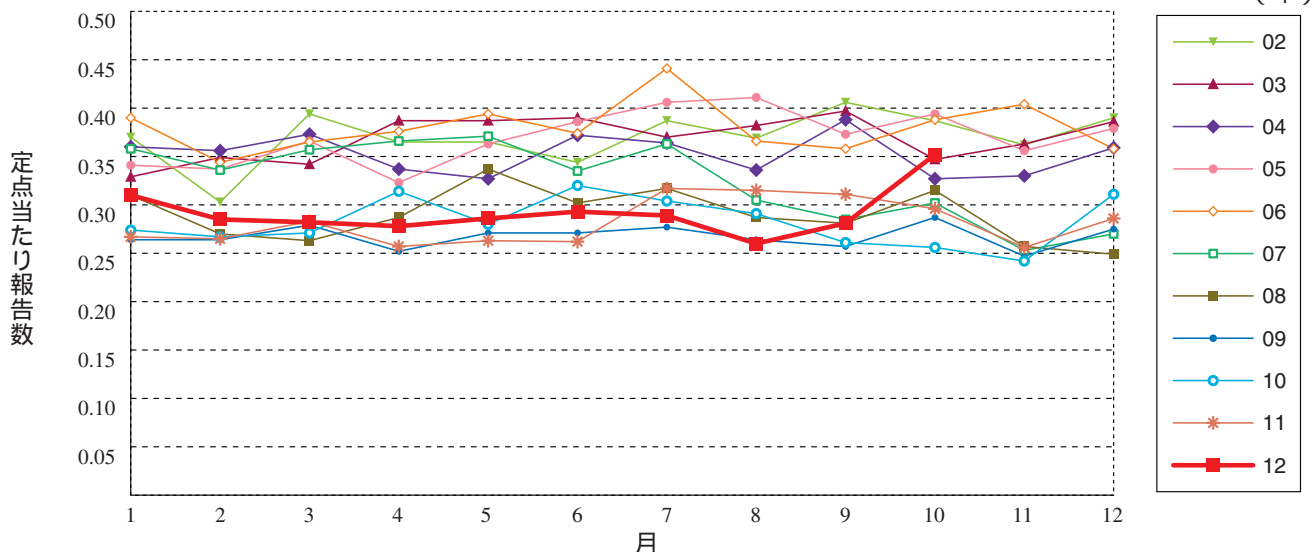
性器クラミジア感染症 ( 女性 )



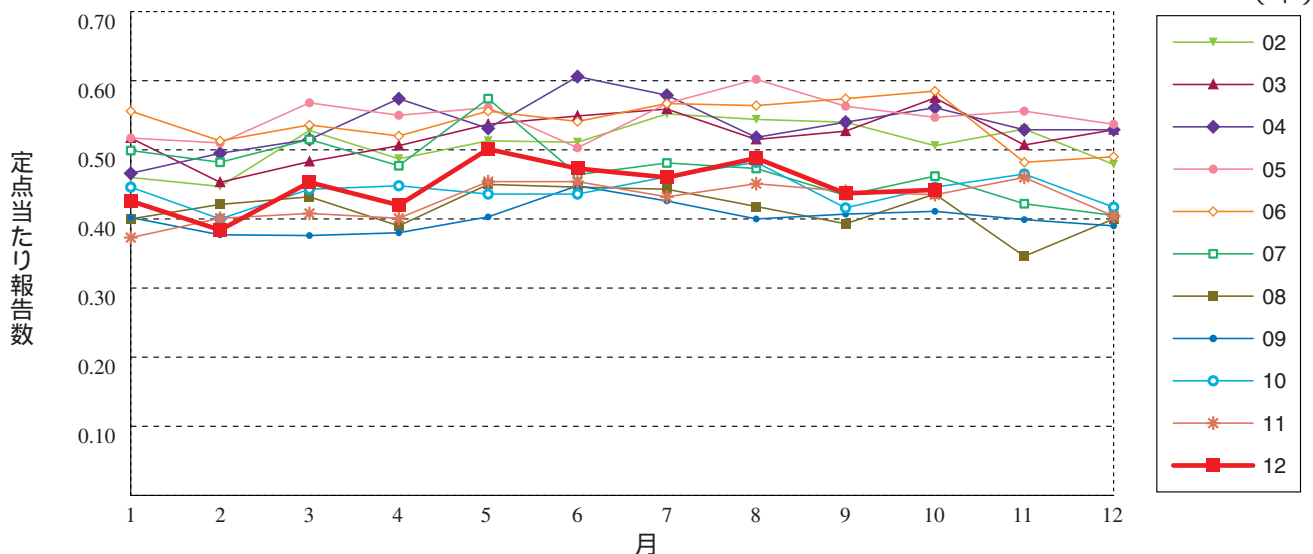
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



性器ヘルペスウイルス感染症（男性）

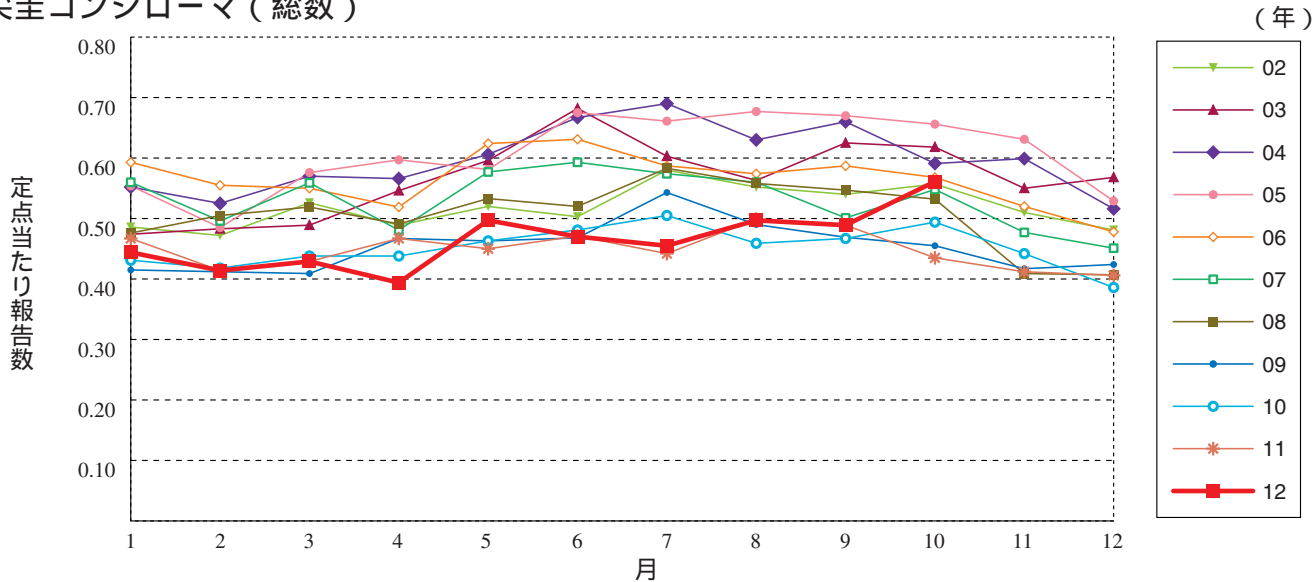


性器ヘルペスウイルス感染症（女性）

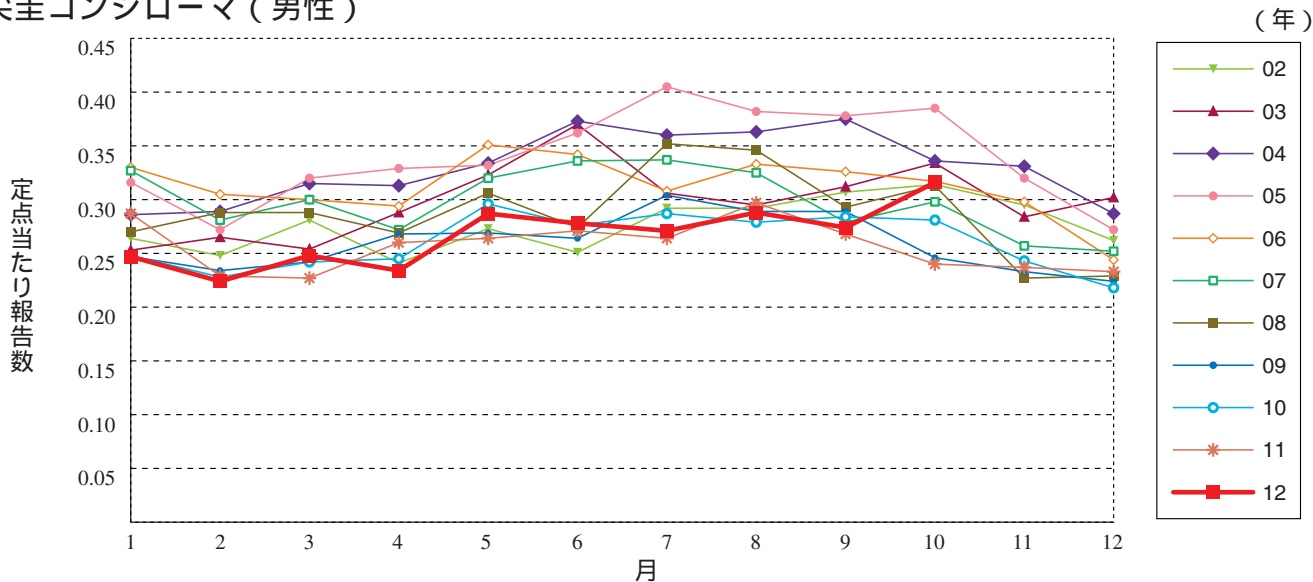




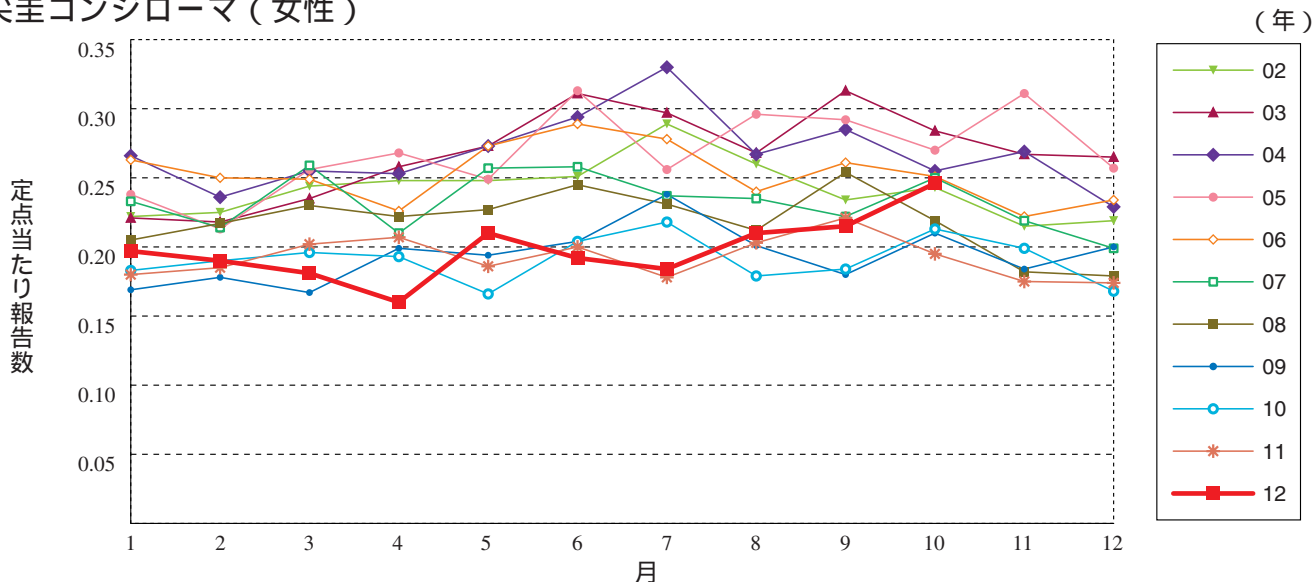
尖圭コンジローマ ( 総数 )



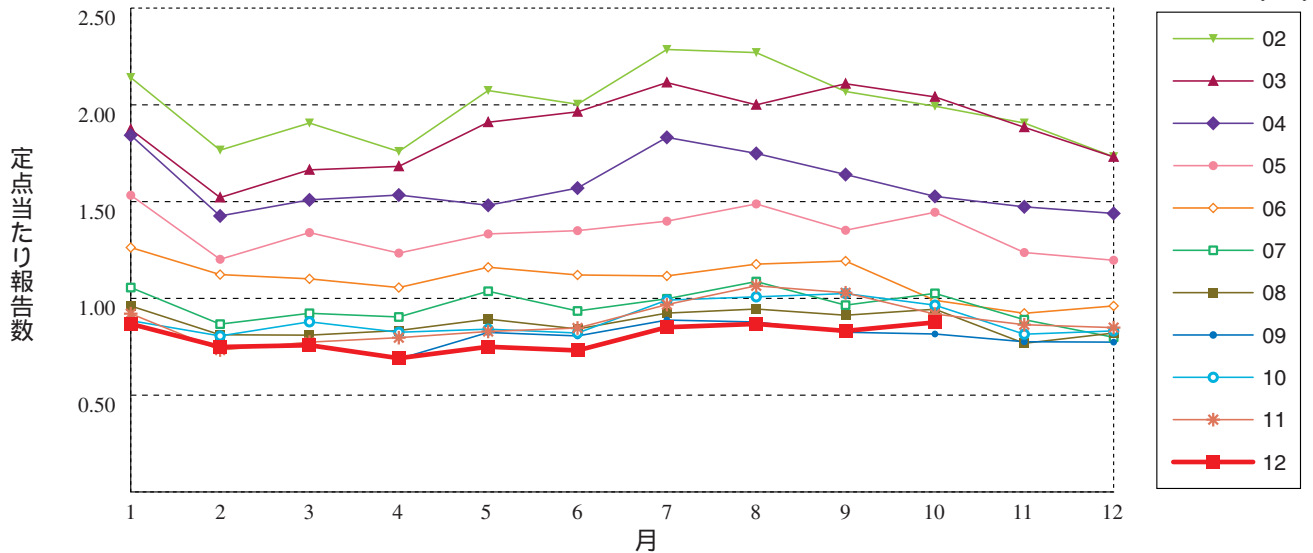
尖圭コンジローマ ( 男性 )



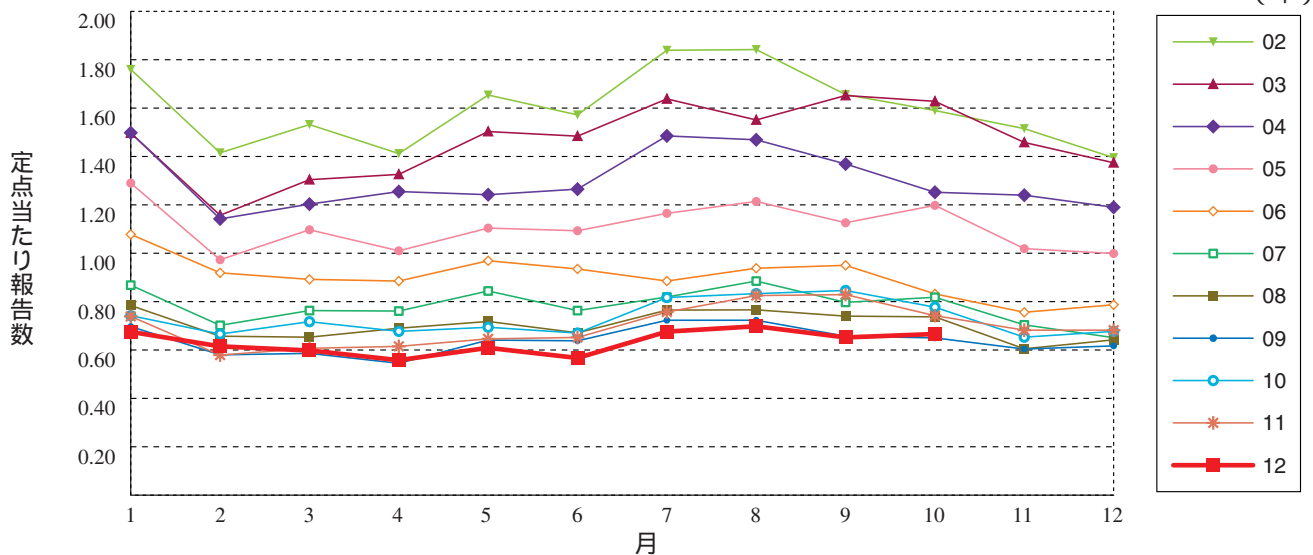
尖圭コンジローマ ( 女性 )



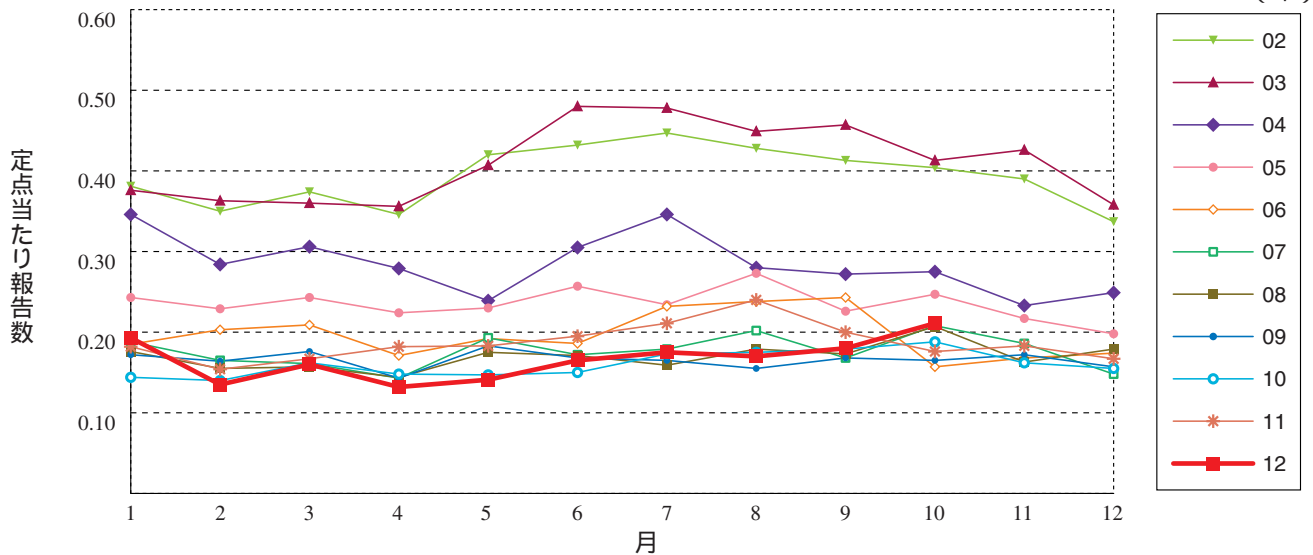
淋菌感染症 ( 総数 )



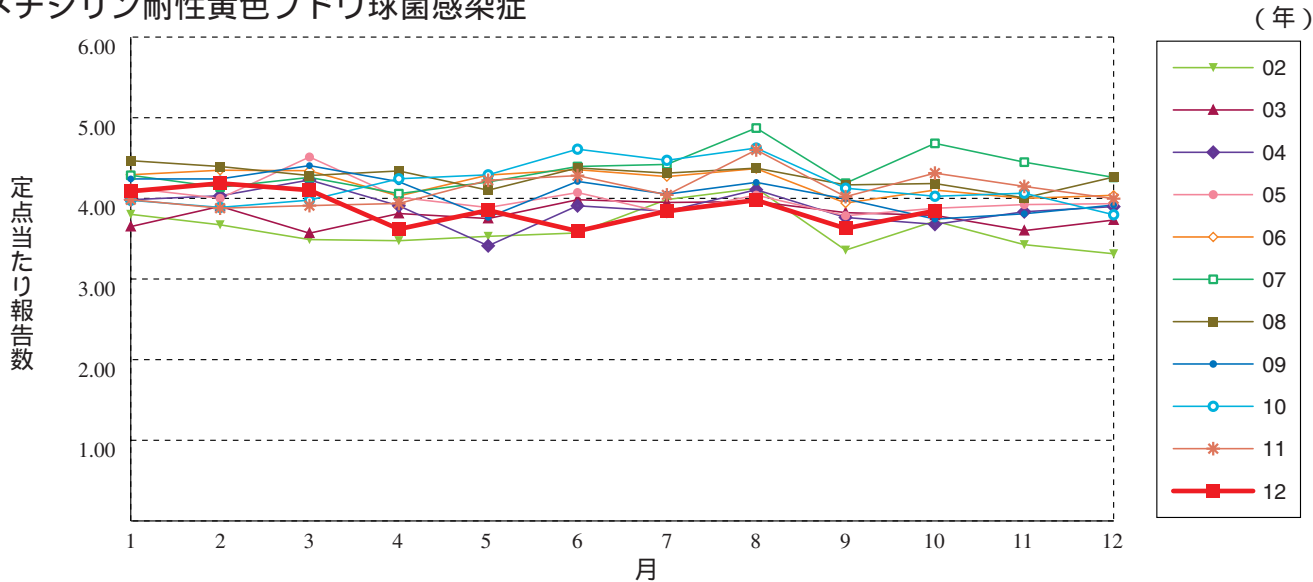
淋菌感染症 ( 男性 )



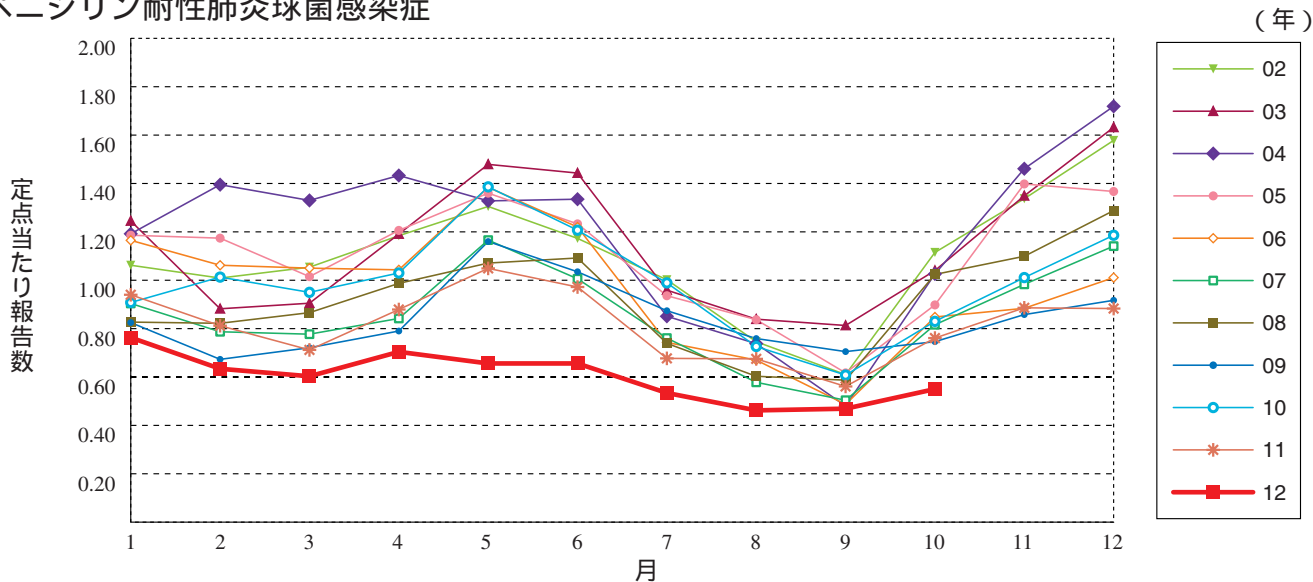
淋菌感染症 ( 女性 )



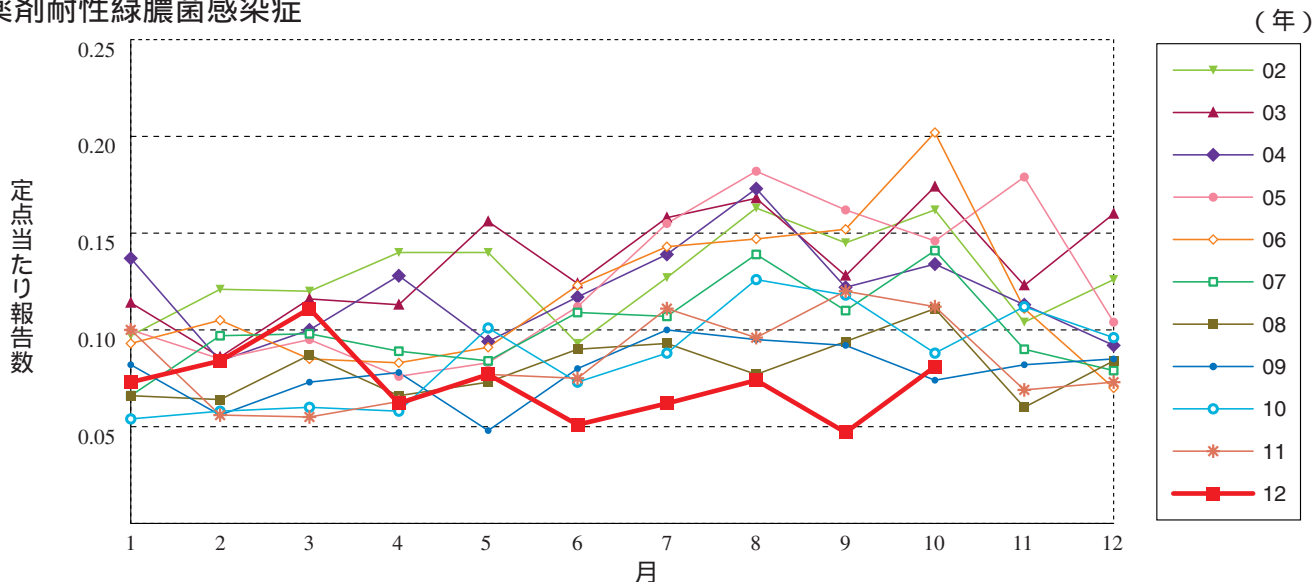
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

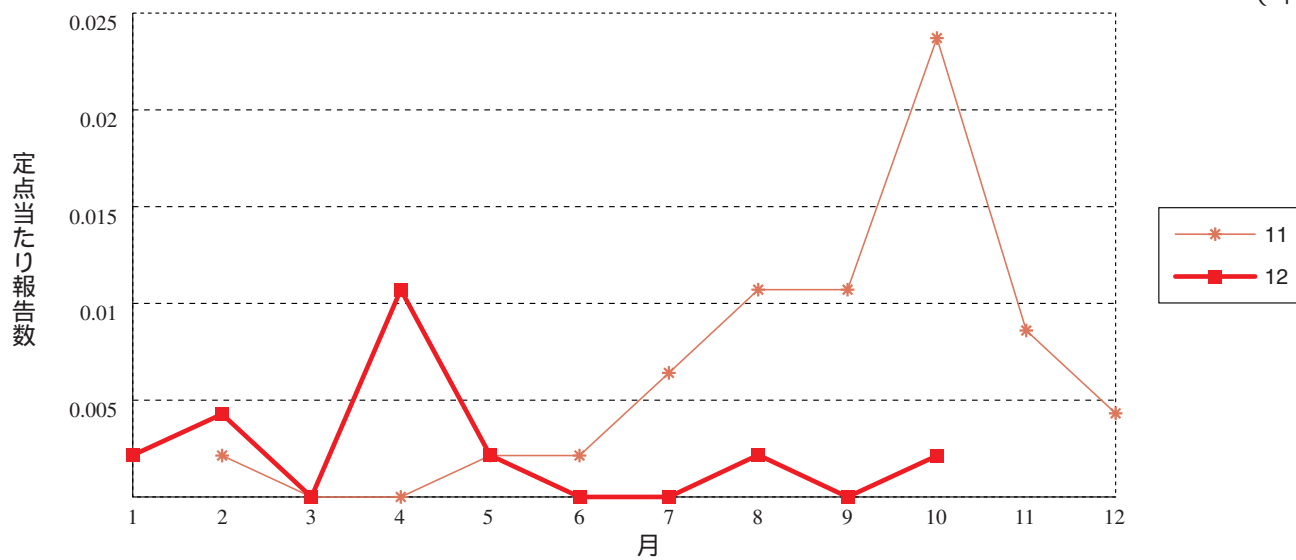


薬剤耐性緑膿菌感染症



薬剤耐性アシネトバクター感染症

(年)





**10月のデータ** 注)11月12日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

2012年10月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネトバクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2219	2.29	769	0.79	544	0.56	849	0.88	1804	3.85	258	0.55	38	0.08	1	0.00
北海道	129	3.07	23	0.55	17	0.40	37	0.88	62	2.70	9	0.39	2	0.09	-	-
青森県	29	2.23	2	0.15	7	0.54	10	0.77	14	2.33	-	-	-	-	-	-
岩手県	10	0.71	4	0.29	24	1.71	7	0.50	73	3.84	21	1.11	2	0.11	1	0.05
宮城県	47	2.61	12	0.67	19	1.06	21	1.17	27	2.25	4	0.33	-	-	-	-
秋田県	18	1.29	10	0.71	5	0.36	5	0.36	36	4.50	1	0.13	-	-	-	-
山形県	16	1.60	5	0.50	1	0.10	5	0.50	22	2.75	12	1.50	-	-	-	-
福島県	25	1.56	17	1.06	7	0.44	13	0.81	52	7.43	9	1.29	3	0.43	-	-
茨城県	65	2.95	18	0.82	10	0.45	21	0.95	30	2.31	-	-	1	0.08	-	-
栃木県	23	1.35	6	0.35	22	1.29	11	0.65	17	2.43	6	0.86	-	-	-	-
群馬県	78	3.25	18	0.75	12	0.50	14	0.58	29	3.63	8	1.00	-	-	-	-
埼玉県	140	2.50	49	0.88	27	0.48	55	0.98	9	1.00	2	0.22	1	0.11	-	-
千葉県	78	1.86	33	0.79	18	0.43	28	0.67	33	3.67	12	1.33	1	0.11	-	-
東京都	244	4.44	135	2.45	95	1.73	91	1.65	91	3.79	34	1.42	3	0.13	-	-
神奈川県	94	1.74	22	0.41	22	0.41	25	0.46	29	2.64	5	0.45	1	0.09	-	-
新潟県	12	0.80	4	0.27	1	0.07	9	0.60	89	6.85	13	1.00	6	0.46	-	-
富山県	12	1.20	5	0.50	5	0.50	3	0.30	16	3.20	1	0.20	2	0.40	-	-
石川県	26	2.60	6	0.60	7	0.70	11	1.10	20	4.00	2	0.40	-	-	-	-
福井県	3	0.60	3	0.60	2	0.40	3	0.60	32	5.33	2	0.33	1	0.17	-	-
山梨県	12	1.33	6	0.67	2	0.22	1	0.11	14	1.40	-	-	1	0.10	-	-
長野県	23	1.53	3	0.20	5	0.33	4	0.27	37	3.36	6	0.55	-	-	-	-
岐阜県	16	1.07	7	0.47	9	0.60	14	0.93	15	3.00	1	0.20	-	-	-	-
静岡県	54	1.80	19	0.63	16	0.53	12	0.40	42	4.20	3	0.30	-	-	-	-
愛知県	180	2.77	60	0.92	38	0.58	70	1.08	114	8.14	4	0.29	-	-	-	-
三重県	15	0.88	4	0.24	2	0.12	3	0.18	36	4.00	5	0.56	1	0.11	-	-
滋賀県	3	0.33	6	0.67	1	0.11	3	0.33	46	6.57	-	-	-	-	-	-
京都府	42	1.83	9	0.39	7	0.30	6	0.26	13	2.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	218	3.35	65	1.00	52	0.80	108	1.66	89	4.94	17	0.94	-	-	-	-
兵庫県	93	2.02	17	0.37	16	0.35	42	0.91	35	3.18	3	0.27	-	-	-	-
奈良県	9	1.00	4	0.44	2	0.22	5	0.56	23	3.83	6	1.00	1	0.17	-	-
和歌山県	17	2.13	6	0.75	5	0.63	5	0.63	36	3.27	3	0.27	2	0.18	-	-
鳥取県	28	4.00	9	1.29	6	0.86	17	2.43	15	3.00	1	0.20	-	-	-	-
島根県	16	2.67	-	-	1	0.17	6	1.00	27	3.38	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	36	2.12	16	0.94	4	0.24	20	1.18	14	2.80	-	-	1	0.20	-	-
広島県	53	2.30	18	0.78	18	0.78	18	0.78	108	5.14	12	0.57	2	0.10	-	-
山口県	21	1.75	14	1.17	4	0.33	12	1.00	51	5.67	18	2.00	-	-	-	-
徳島県	10	1.67	12	2.00	2	0.33	-	-	23	3.83	3	0.50	-	-	-	-
香川県	18	1.20	18	1.20	6	0.40	5	0.33	8	1.60	-	-	-	-	-	-
愛媛県	12	1.09	8	0.73	4	0.36	3	0.27	14	2.33	-	-	-	-	-	-
高知県	2	0.33	-	-	-	-	3	0.50	30	3.75	2	0.25	1	0.13	-	-
福岡県	107	2.89	37	1.00	24	0.65	58	1.57	52	3.47	8	0.53	1	0.07	-	-
佐賀県	24	3.43	4	0.57	1	0.14	19	2.71	23	3.83	1	0.17	1	0.17	-	-
長崎県	20	2.00	5	0.50	5	0.50	3	0.30	49	4.08	5	0.42	-	-	-	-
熊本県	45	3.46	28	2.15	5	0.38	10	0.77	20	1.33	2	0.13	-	-	-	-
大分県	13	1.30	4	0.40	2	0.20	3	0.30	77	7.00	13	1.18	2	0.18	-	-
宮崎県	27	2.08	8	0.62	2	0.15	7	0.54	43	6.14	2	0.29	1	0.14	-	-
鹿児島県	34	2.13	8	0.50	1	0.06	20	1.25	19	1.58	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	22	1.83	2	0.17	3	0.25	3	0.25	50	7.14	-	-	1	0.14	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2012年10月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネトバクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1054	1.09	341	0.35	306	0.32	645	0.67	1111	2.37	153	0.33	26	0.06	1	0.00
北海道	40	0.95	10	0.24	10	0.24	21	0.50	41	1.78	5	0.22	2	0.09	-	-
青森県	14	1.08	1	0.08	5	0.38	8	0.62	6	1.00	-	-	-	-	-	-
岩手県	8	0.57	2	0.14	13	0.93	7	0.50	54	2.84	11	0.58	1	0.05	1	0.05
宮城県	20	1.11	7	0.39	17	0.94	19	1.06	18	1.50	2	0.17	-	-	-	-
秋田県	9	0.64	7	0.50	3	0.21	4	0.29	18	2.25	1	0.13	-	-	-	-
山形県	6	0.60	-	-	-	-	3	0.30	15	1.88	6	0.75	-	-	-	-
福島県	10	0.63	10	0.63	4	0.25	12	0.75	32	4.57	5	0.71	2	0.29	-	-
茨城県	23	1.05	4	0.18	1	0.05	18	0.82	20	1.54	-	-	1	0.08	-	-
栃木県	16	0.94	2	0.12	16	0.94	11	0.65	5	0.71	3	0.43	-	-	-	-
群馬県	38	1.58	4	0.17	6	0.25	10	0.42	21	2.63	3	0.38	-	-	-	-
埼玉県	68	1.21	17	0.30	9	0.16	45	0.80	5	0.56	1	0.11	1	0.11	-	-
千葉県	29	0.69	14	0.33	15	0.36	20	0.48	20	2.22	6	0.67	1	0.11	-	-
東京都	152	2.76	86	1.56	63	1.15	73	1.33	60	2.50	19	0.79	2	0.08	-	-
神奈川県	52	0.96	8	0.15	7	0.13	20	0.37	19	1.73	4	0.36	-	-	-	-
新潟県	9	0.60	2	0.13	-	-	9	0.60	56	4.31	8	0.62	6	0.46	-	-
富山県	5	0.50	-	-	3	0.30	3	0.30	10	2.00	-	-	2	0.40	-	-
石川県	13	1.30	5	0.50	6	0.60	8	0.80	13	2.60	1	0.20	-	-	-	-
福井県	1	0.20	2	0.40	-	-	3	0.60	20	3.33	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	1	0.11	-	-	1	0.11	1	0.11	11	1.10	-	-	-	-	-	-
長野県	7	0.47	-	-	-	-	4	0.27	24	2.18	4	0.36	-	-	-	-
岐阜県	10	0.67	3	0.20	6	0.40	10	0.67	13	2.60	-	-	-	-	-	-
静岡県	16	0.53	9	0.30	11	0.37	8	0.27	19	1.90	-	-	-	-	-	-
愛知県	100	1.54	21	0.32	24	0.37	61	0.94	68	4.86	4	0.29	-	-	-	-
三重県	5	0.29	1	0.06	2	0.12	3	0.18	24	2.67	4	0.44	1	0.11	-	-
滋賀県	2	0.22	2	0.22	-	-	3	0.33	25	3.57	-	-	-	-	-	-
京都府	13	0.57	-	-	-	-	3	0.13	7	1.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	91	1.40	26	0.40	20	0.31	60	0.92	57	3.17	12	0.67	-	-	-	-
兵庫県	52	1.13	7	0.15	12	0.26	36	0.78	21	1.91	-	-	-	-	-	-
奈良県	7	0.78	2	0.22	2	0.22	5	0.56	16	2.67	4	0.67	1	0.17	-	-
和歌山県	8	1.00	6	0.75	5	0.63	3	0.38	28	2.55	1	0.09	1	0.09	-	-
鳥取県	16	2.29	4	0.57	4	0.57	12	1.71	10	2.00	-	-	-	-	-	-
島根県	7	1.17	-	-	1	0.17	4	0.67	16	2.00	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	10	0.59	4	0.24	2	0.12	11	0.65	6	1.20	-	-	-	-	-	-
広島県	33	1.43	7	0.30	7	0.30	17	0.74	63	3.00	7	0.33	2	0.10	-	-
山口県	8	0.67	4	0.33	1	0.08	7	0.58	33	3.67	12	1.33	-	-	-	-
徳島県	9	1.50	7	1.17	2	0.33	-	-	16	2.67	2	0.33	-	-	-	-
香川県	6	0.40	8	0.53	5	0.33	4	0.27	4	0.80	-	-	-	-	-	-
愛媛県	10	0.91	6	0.55	4	0.36	3	0.27	10	1.67	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	0.17	17	2.13	2	0.25	-	-	-	-
福岡県	46	1.24	15	0.41	9	0.24	42	1.14	28	1.87	6	0.40	-	-	-	-
佐賀県	21	3.00	2	0.29	1	0.14	19	2.71	15	2.50	1	0.17	1	0.17	-	-
長崎県	9	0.90	3	0.30	-	-	2	0.20	38	3.17	5	0.42	-	-	-	-
熊本県	13	1.00	16	1.23	3	0.23	9	0.69	14	0.93	1	0.07	-	-	-	-
大分県	7	0.70	2	0.20	2	0.20	3	0.30	40	3.64	8	0.73	1	0.09	-	-
宮崎県	15	1.15	-	-	1	0.08	6	0.46	21	3.00	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	17	1.06	4	0.25	1	0.06	13	0.81	10	0.83	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	2	0.17	1	0.08	2	0.17	1	0.08	24	3.43	-	-	1	0.14	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

2012年10月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネトバクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1165	1.20	428	0.44	238	0.25	204	0.21	693	1.48	105	0.22	12	0.03	-	-
北海道	89	2.12	13	0.31	7	0.17	16	0.38	21	0.91	4	0.17	-	-	-	-
青森県	15	1.15	1	0.08	2	0.15	2	0.15	8	1.33	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.14	2	0.14	11	0.79	-	-	19	1.00	10	0.53	1	0.05	-	-
宮城県	27	1.50	5	0.28	2	0.11	2	0.11	9	0.75	2	0.17	-	-	-	-
秋田県	9	0.64	3	0.21	2	0.14	1	0.07	18	2.25	-	-	-	-	-	-
山形県	10	1.00	5	0.50	1	0.10	2	0.20	7	0.88	6	0.75	-	-	-	-
福島県	15	0.94	7	0.44	3	0.19	1	0.06	20	2.86	4	0.57	1	0.14	-	-
茨城県	42	1.91	14	0.64	9	0.41	3	0.14	10	0.77	-	-	-	-	-	-
栃木県	7	0.41	4	0.24	6	0.35	-	-	12	1.71	3	0.43	-	-	-	-
群馬県	40	1.67	14	0.58	6	0.25	4	0.17	8	1.00	5	0.63	-	-	-	-
埼玉県	72	1.29	32	0.57	18	0.32	10	0.18	4	0.44	1	0.11	-	-	-	-
千葉県	49	1.17	19	0.45	3	0.07	8	0.19	13	1.44	6	0.67	-	-	-	-
東京都	92	1.67	49	0.89	32	0.58	18	0.33	31	1.29	15	0.63	1	0.04	-	-
神奈川県	42	0.78	14	0.26	15	0.28	5	0.09	10	0.91	1	0.09	1	0.09	-	-
新潟県	3	0.20	2	0.13	1	0.07	-	-	33	2.54	5	0.38	-	-	-	-
富山県	7	0.70	5	0.50	2	0.20	-	-	6	1.20	1	0.20	-	-	-	-
石川県	13	1.30	1	0.10	1	0.10	3	0.30	7	1.40	1	0.20	-	-	-	-
福井県	2	0.40	1	0.20	2	0.40	-	-	12	2.00	1	0.17	1	0.17	-	-
山梨県	11	1.22	6	0.67	1	0.11	-	-	3	0.30	-	-	1	0.10	-	-
長野県	16	1.07	3	0.20	5	0.33	-	-	13	1.18	2	0.18	-	-	-	-
岐阜県	6	0.40	4	0.27	3	0.20	4	0.27	2	0.40	1	0.20	-	-	-	-
静岡県	38	1.27	10	0.33	5	0.17	4	0.13	23	2.30	3	0.30	-	-	-	-
愛知県	80	1.23	39	0.60	14	0.22	9	0.14	46	3.29	-	-	-	-	-	-
三重県	10	0.59	3	0.18	-	-	-	-	12	1.33	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	1	0.11	4	0.44	1	0.11	-	-	21	3.00	-	-	-	-	-	-
京都府	29	1.26	9	0.39	7	0.30	3	0.13	6	1.00	-	-	-	-	-	-
大阪府	127	1.95	39	0.60	32	0.49	48	0.74	32	1.78	5	0.28	-	-	-	-
兵庫県	41	0.89	10	0.22	4	0.09	6	0.13	14	1.27	3	0.27	-	-	-	-
奈良県	2	0.22	2	0.22	-	-	-	-	7	1.17	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	9	1.13	-	-	-	-	2	0.25	8	0.73	2	0.18	1	0.09	-	-
鳥取県	12	1.71	5	0.71	2	0.29	5	0.71	5	1.00	1	0.20	-	-	-	-
島根県	9	1.50	-	-	-	-	2	0.33	11	1.38	-	-	-	-	-	-
岡山県	26	1.53	12	0.71	2	0.12	9	0.53	8	1.60	-	-	1	0.20	-	-
広島県	20	0.87	11	0.48	11	0.48	1	0.04	45	2.14	5	0.24	-	-	-	-
山口県	13	1.08	10	0.83	3	0.25	5	0.42	18	2.00	6	0.67	-	-	-	-
徳島県	1	0.17	5	0.83	-	-	-	-	7	1.17	1	0.17	-	-	-	-
香川県	12	0.80	10	0.67	1	0.07	1	0.07	4	0.80	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.18	2	0.18	-	-	-	-	4	0.67	-	-	-	-	-	-
高知県	2	0.33	-	-	-	-	2	0.33	13	1.63	-	-	1	0.13	-	-
福岡県	61	1.65	22	0.59	15	0.41	16	0.43	24	1.60	2	0.13	1	0.07	-	-
佐賀県	3	0.43	2	0.29	-	-	-	-	8	1.33	-	-	-	-	-	-
長崎県	11	1.10	2	0.20	5	0.50	1	0.10	11	0.92	-	-	-	-	-	-
熊本県	32	2.46	12	0.92	2	0.15	1	0.08	6	0.40	1	0.07	-	-	-	-
大分県	6	0.60	2	0.20	-	-	-	-	37	3.36	5	0.45	1	0.09	-	-
宮崎県	12	0.92	8	0.62	1	0.08	1	0.08	22	3.14	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	17	1.06	4	0.25	-	-	7	0.44	9	0.75	-	-	-	-	-	-
沖縄県	20	1.67	1	0.08	1	0.08	2	0.17	26	3.71	-	-	-	-	-	-



### 46週のデータ

注) 表中の報告数は11月21日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されず、  
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年46週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ ー ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	348	25590
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	746
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	357
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	252
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	347
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	189
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	173
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	236
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	549
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	301
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	237
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1249
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1177
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	4006
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	1841
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	320
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	191
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	178
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	150
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	314
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	431
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	627
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1701
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	300
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	232
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	659
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1530
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	913
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	363
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	303
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	114
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	215
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	430
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	593
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	338
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	204
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	175
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	206
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	117
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1055
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	150
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	347
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	403
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	281
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	236
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	332
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	398



\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3	3	1	193	48	3568	-	30	-	20	-	101
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	329	-	-	-	1	-	36
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	106	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	150	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	30	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	49	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	23	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	43	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	60	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	7	123	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	116	-	-	-	1	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	4	248	-	10	-	9	-	16
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	12	1	140	-	7	-	2	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	58	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	63	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	34	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	5	151	-	2	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	74	-	-	-	-	-	12
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	49	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	29	-	246	-	1	-	4	-	4
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	91	-	2	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	16	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	156	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	67	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	51	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	261	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	78	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12	37	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	67	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	32	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	116	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	148	-	13	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	3	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	2	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	11	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	16	253
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	11
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	200	-	-	-	-	-	-	4	159	-	2	-	-	-	-	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	14	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	1	4	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	24	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	68	-	-	-	10	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年46週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	13	758	-	28	-	-	21	797	1	196	1	320	-	6
北海道	-	-	-	-	1	31	-	-	-	-	-	25	-	5	-	12	-	-
青森県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	5	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	1	16	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	2	15	-	1	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-
福島県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	2	9	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	12	-	2	-	20	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	6	-	2	-	11	-	-
群馬県	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	42	-	1	-	-	2	42	-	7	1	17	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	2	44	-	4	-	45	-	-
東京都	-	-	-	-	-	49	-	5	-	-	3	165	1	49	-	27	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	46	-	3	-	-	3	74	-	4	-	12	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	10	-	1	-	15	-	-
富山県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	5	-	4	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	2	-	2	-	2	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	7	-	3	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	20	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	23	-	3	-	16	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	1	50	-	10	-	16	-	1
三重県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	11	-	2	-	3	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	1	13	-	2	-	3	-	-
京都府	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	18	-	6	-	8	-	-
大阪府	-	-	-	-	2	43	-	1	-	-	3	73	-	23	-	22	-	-
兵庫県	-	-	-	-	2	42	-	-	-	-	-	26	-	13	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	11	-	7	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	1	18	-	9	-	15	-	-
山口県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	1	6	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	11	-	1	-	3	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	1	9	-	2	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	32	-	1	-	-	-	31	-	12	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	6	-	2	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	6	-	2	-	7	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	3	-	2	-	8	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	5	-	2	-	6	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	5	-	4	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	クローンツェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	158	3	222	12	1231	2	63	-	12	-	1	10	764	2	99	-	-
北海道	-	7	-	12	1	23	-	1	-	-	-	-	1	23	-	9	-	-
青森県	-	1	-	2	-	3	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	3	-	10	-	1	-	-	-	-	-	19	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
福島県	-	1	-	3	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-
茨城県	-	4	-	3	-	23	-	2	-	-	-	-	1	25	-	5	-	-
栃木県	-	7	-	5	-	17	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-
群馬県	-	2	-	4	-	14	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
埼玉県	-	6	-	6	-	38	-	2	-	1	-	-	-	30	-	4	-	-
千葉県	-	5	-	14	-	43	-	-	-	-	-	-	1	25	-	4	-	-
東京都	1	14	1	21	4	401	1	14	-	-	-	-	4	247	1	4	-	-
神奈川県	-	7	-	11	-	75	-	4	-	2	-	-	1	44	-	6	-	-
新潟県	-	5	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
富山県	-	3	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
石川県	-	4	-	3	1	8	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
福井県	-	2	-	4	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	1	-	4	-	15	-	2	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
静岡県	-	5	-	5	-	26	-	-	-	-	-	-	-	19	-	3	-	-
愛知県	-	9	-	10	-	101	-	1	-	1	-	-	-	32	-	4	-	-
三重県	-	1	-	4	-	6	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	3	-	9	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	7	-	8	-	8	-	1	-	1	-	-	-	10	-	3	-	-
大阪府	-	6	2	6	3	152	-	10	-	1	-	-	1	90	-	1	-	-
兵庫県	-	6	-	5	-	39	1	7	-	1	-	1	1	18	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
鳥取県	-	2	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
島根県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
広島県	-	1	-	2	1	20	-	2	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-
山口県	-	2	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
徳島県	-	4	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-
香川県	-	2	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	6	-	9	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-
高知県	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-
福岡県	-	7	-	16	1	47	-	2	-	2	-	-	-	25	-	4	-	-
佐賀県	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	3	-	11	-	6	-	-	-	1	-	-	-	12	-	5	-	-
大分県	-	3	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
宮崎県	-	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-
鹿児島県	-	2	-	3	-	8	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-
沖縄県	-	3	-	2	-	18	-	2	-	1	-	-	-	9	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2012年46週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	82	30	2039	3	278
北海道	-	-	-	12	-	1
青森県	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	2
宮城県	-	-	-	9	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	1
山形県	-	-	-	5	-	-
福島県	-	1	-	4	-	7
茨城県	-	-	-	17	-	-
栃木県	-	-	-	4	-	10
群馬県	-	2	-	15	-	-
埼玉県	-	7	2	76	-	31
千葉県	-	5	2	86	-	21
東京都	-	9	14	530	3	76
神奈川県	-	6	7	209	-	28
新潟県	-	1	-	8	-	2
富山県	-	-	-	2	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	8	-	-
山梨県	-	1	-	11	-	3
長野県	-	-	-	12	-	-
岐阜県	-	2	-	8	-	6
静岡県	-	2	-	18	-	2
愛知県	-	3	-	87	-	38
三重県	-	1	-	58	-	1
滋賀県	-	-	-	12	-	1
京都府	-	4	-	35	-	2
大阪府	-	12	4	374	-	4
兵庫県	-	2	1	273	-	17
奈良県	-	-	-	18	-	-
和歌山県	-	1	-	10	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	2	-	6	-	6
広島県	-	2	-	10	-	6
山口県	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	3	-	2	-	2
高知県	-	-	-	4	-	-
福岡県	-	6	-	36	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	1	-	2	-	1
熊本県	-	5	-	4	-	-
大分県	-	-	-	5	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	8
鹿児島県	-	1	-	4	-	1
沖縄県	-	1	-	46	-	-



\*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	686	0.14	955	0.30	5240	1.66	35862	11.39	4045	1.28	1719	0.55	127	0.04	1849	0.59	85	0.03
北海道	4	0.02	78	0.55	359	2.53	576	4.06	213	1.50	111	0.78	4	0.03	63	0.44	10	0.07
青森県	-	-	4	0.10	48	1.17	173	4.22	64	1.56	22	0.54	-	-	20	0.49	-	-
岩手県	3	0.05	4	0.10	52	1.30	377	9.43	37	0.93	70	1.75	5	0.13	18	0.45	2	0.05
宮城県	2	0.02	10	0.17	77	1.33	674	11.62	126	2.17	46	0.79	3	0.05	43	0.74	-	-
秋田県	18	0.33	4	0.11	29	0.83	166	4.74	52	1.49	84	2.40	1	0.03	13	0.37	-	-
山形県	7	0.15	27	0.90	85	2.83	150	5.00	97	3.23	66	2.20	-	-	21	0.70	1	0.03
福島県	20	0.25	6	0.13	69	1.44	260	5.42	52	1.08	103	2.15	4	0.08	24	0.50	-	-
茨城県	7	0.06	6	0.08	106	1.41	456	6.08	61	0.81	112	1.49	1	0.01	28	0.37	3	0.04
栃木県	16	0.21	7	0.15	56	1.17	168	3.50	44	0.92	82	1.71	-	-	33	0.69	1	0.02
群馬県	19	0.19	10	0.17	58	0.97	364	6.07	67	1.12	16	0.27	2	0.03	23	0.38	2	0.03
埼玉県	70	0.29	36	0.23	276	1.76	1580	10.06	211	1.34	133	0.85	6	0.04	129	0.82	3	0.02
千葉県	48	0.23	19	0.14	263	1.98	1193	8.97	136	1.02	127	0.95	8	0.06	76	0.57	9	0.07
東京都	72	0.17	106	0.41	579	2.22	3508	13.44	239	0.92	118	0.45	9	0.03	155	0.59	10	0.04
神奈川県	40	0.12	68	0.33	285	1.40	2088	10.29	191	0.94	136	0.67	14	0.07	116	0.57	1	0.00
新潟県	5	0.05	18	0.30	156	2.60	308	5.13	158	2.63	27	0.45	1	0.02	34	0.57	4	0.07
富山県	1	0.02	8	0.28	75	2.59	344	11.86	65	2.24	11	0.38	2	0.07	15	0.52	1	0.03
石川県	-	-	12	0.41	82	2.83	511	17.62	24	0.83	27	0.93	1	0.03	16	0.55	-	-
福井県	12	0.38	6	0.27	47	2.14	401	18.23	28	1.27	22	1.00	1	0.05	10	0.45	-	-
山梨県	1	0.03	3	0.13	41	1.71	111	4.63	44	1.83	12	0.50	-	-	9	0.38	-	-
長野県	3	0.03	2	0.04	104	1.89	550	10.00	137	2.49	9	0.16	1	0.02	28	0.51	1	0.02
岐阜県	28	0.32	14	0.26	83	1.57	354	6.68	33	0.62	2	0.04	6	0.11	29	0.55	-	-
静岡県	23	0.17	18	0.20	134	1.51	1029	11.56	86	0.97	7	0.08	-	-	57	0.64	-	-
愛知県	20	0.10	40	0.22	261	1.44	1828	10.10	134	0.74	2	0.01	10	0.06	95	0.52	12	0.07
三重県	4	0.06	26	0.58	44	0.98	385	8.56	35	0.78	8	0.18	4	0.09	23	0.51	-	-
滋賀県	9	0.17	6	0.19	44	1.38	365	11.41	31	0.97	1	0.03	-	-	17	0.53	-	-
京都府	2	0.02	8	0.11	91	1.26	881	12.24	83	1.15	5	0.07	-	-	36	0.50	-	-
大阪府	15	0.05	49	0.25	386	1.94	3823	19.21	227	1.14	26	0.13	12	0.06	96	0.48	5	0.03
兵庫県	7	0.04	24	0.19	133	1.03	2368	18.36	160	1.24	3	0.02	2	0.02	64	0.50	-	-
奈良県	-	-	4	0.11	27	0.77	448	12.80	25	0.71	10	0.29	1	0.03	13	0.37	-	-
和歌山県	-	-	6	0.19	26	0.84	363	11.71	39	1.26	2	0.06	-	-	22	0.71	-	-
鳥取県	2	0.07	4	0.21	55	2.89	71	3.74	22	1.16	3	0.16	-	-	14	0.74	-	-
島根県	4	0.11	10	0.43	23	1.00	164	7.13	43	1.87	-	-	-	-	17	0.74	-	-
岡山県	4	0.05	3	0.06	66	1.22	680	12.59	65	1.20	14	0.26	-	-	32	0.59	1	0.02
広島県	17	0.15	22	0.31	86	1.19	657	9.13	121	1.68	2	0.03	3	0.04	46	0.64	4	0.06
山口県	2	0.03	7	0.15	209	4.35	529	11.02	72	1.50	4	0.08	1	0.02	41	0.85	-	-
徳島県	2	0.05	16	0.70	25	1.09	182	7.91	49	2.13	-	-	2	0.09	17	0.74	2	0.09
香川県	1	0.02	1	0.03	18	0.60	297	9.90	26	0.87	18	0.60	3	0.10	17	0.57	1	0.03
愛媛県	2	0.03	6	0.16	78	2.11	601	16.24	55	1.49	6	0.16	5	0.14	29	0.78	-	-
高知県	1	0.02	1	0.03	17	0.57	153	5.10	64	2.13	1	0.03	4	0.13	16	0.53	1	0.03
福岡県	23	0.12	54	0.45	194	1.62	2403	20.03	188	1.57	35	0.29	4	0.03	90	0.75	10	0.08
佐賀県	62	1.59	36	1.57	44	1.91	333	14.48	56	2.43	1	0.04	-	-	20	0.87	-	-
長崎県	2	0.03	16	0.36	76	1.73	414	9.41	103	2.34	10	0.23	-	-	25	0.57	-	-
熊本県	1	0.01	32	0.67	52	1.08	899	18.73	61	1.27	28	0.58	1	0.02	54	1.13	-	-
大分県	-	-	12	0.33	71	1.97	699	19.42	34	0.94	24	0.67	1	0.03	25	0.69	1	0.03
宮崎県	-	-	58	1.61	74	2.06	807	22.42	57	1.58	54	1.50	-	-	40	1.11	-	-
鹿児島県	1	0.01	39	0.71	65	1.18	1028	18.69	99	1.80	102	1.85	4	0.07	24	0.44	-	-
沖縄県	106	1.83	9	0.26	11	0.32	143	4.21	31	0.91	17	0.50	1	0.03	16	0.47	-	-

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	237	0.08	1051	0.33	10	0.01	396	0.58	3	0.01	15	0.03	615	1.32	27	0.06	3386
北海道	11	0.08	14	0.10	-	-	15	0.52	-	-	-	-	31	1.35	1	0.04	274
青森県	2	0.05	8	0.20	-	-	10	0.91	-	-	-	-	13	2.17	-	-	58
岩手県	3	0.08	52	1.30	-	-	5	0.36	-	-	-	-	58	3.05	-	-	82
宮城県	4	0.07	64	1.10	-	-	2	0.17	-	-	2	0.17	37	3.08	-	-	24
秋田県	2	0.06	29	0.83	-	-	2	0.29	-	-	-	-	18	2.25	-	-	28
山形県	4	0.13	37	1.23	-	-	3	0.38	-	-	-	-	5	0.50	-	-	54
福島県	5	0.10	13	0.27	-	-	6	0.50	-	-	1	0.14	32	4.57	3	0.43	79
茨城県	-	-	6	0.08	-	-	15	0.88	-	-	-	-	6	0.46	-	-	44
栃木県	-	-	11	0.23	-	-	8	0.67	-	-	-	-	29	4.14	9	1.29	80
群馬県	8	0.13	36	0.60	-	-	21	1.62	-	-	-	-	34	4.25	-	-	86
埼玉県	6	0.04	51	0.32	-	-	16	0.38	-	-	-	-	32	3.56	3	0.33	136
千葉県	17	0.13	48	0.36	1	0.03	19	0.54	-	-	1	0.11	15	1.67	2	0.22	62
東京都	17	0.07	67	0.26	1	0.03	13	0.34	-	-	2	0.09	29	1.26	1	0.04	135
神奈川県	17	0.08	67	0.33	2	0.05	51	1.19	-	-	-	-	10	1.25	-	-	74
新潟県	14	0.23	16	0.27	2	0.20	6	0.60	-	-	-	-	13	1.00	3	0.23	277
富山県	3	0.10	3	0.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	9	1.80	-	-	29
石川県	1	0.03	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.20	-	-	30
福井県	-	-	11	0.50	-	-	3	1.00	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-	62
山梨県	1	0.04	5	0.21	-	-	1	0.11	-	-	-	-	9	0.90	-	-	7
長野県	3	0.05	1	0.02	-	-	13	1.18	-	-	-	-	27	2.45	-	-	36
岐阜県	3	0.06	28	0.53	-	-	2	0.18	-	-	-	-	14	2.80	-	-	81
静岡県	2	0.02	19	0.21	-	-	8	0.36	-	-	-	-	15	1.50	1	0.10	115
愛知県	4	0.02	63	0.35	-	-	14	0.41	-	-	-	-	29	2.07	-	-	158
三重県	-	-	28	0.62	-	-	5	0.42	-	-	1	0.11	5	0.56	1	0.11	30
滋賀県	1	0.03	1	0.03	-	-	4	0.50	-	-	-	-	6	0.86	-	-	58
京都府	5	0.07	6	0.08	-	-	8	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-	58
大阪府	4	0.02	32	0.16	1	0.02	8	0.15	2	0.12	2	0.12	15	0.88	2	0.12	232
兵庫県	3	0.02	19	0.15	-	-	30	0.86	-	-	1	0.09	15	1.36	1	0.09	136
奈良県	-	-	2	0.06	-	-	4	0.44	-	-	-	-	3	0.50	-	-	18
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	1	0.25	-	-	-	-	12	1.09	-	-	22
鳥取県	2	0.11	3	0.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	8	1.60	-	-	26
島根県	5	0.22	7	0.30	-	-	-	-	-	-	1	0.13	5	0.63	-	-	43
岡山県	-	-	9	0.17	-	-	3	0.25	-	-	1	0.20	9	1.80	-	-	44
広島県	2	0.03	17	0.24	-	-	7	0.37	-	-	-	-	5	0.24	-	-	100
山口県	12	0.25	9	0.19	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.22	-	-	95
徳島県	1	0.04	4	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-	37
香川県	23	0.77	5	0.17	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20	-	-	106
愛媛県	4	0.11	15	0.41	-	-	17	2.13	-	-	-	-	4	0.67	-	-	77
高知県	2	0.07	10	0.33	-	-	1	0.33	-	-	-	-	14	1.75	-	-	11
福岡県	13	0.11	69	0.58	-	-	12	0.46	-	-	-	-	2	0.13	-	-	89
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	10	1.67	-	-	28
長崎県	2	0.05	26	0.59	-	-	5	0.63	-	-	1	0.08	2	0.17	-	-	59
熊本県	8	0.17	16	0.33	2	0.22	12	1.33	-	-	1	0.07	2	0.13	-	-	43
大分県	5	0.14	60	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.45	-	-	15
宮崎県	4	0.11	29	0.81	1	0.17	11	1.83	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	22
鹿児島県	9	0.16	21	0.38	-	-	6	0.86	-	-	-	-	9	0.75	-	-	19
沖縄県	5	0.15	9	0.26	-	-	21	2.10	-	-	-	-	5	0.71	-	-	7

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年46週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群( SARS )						結核		鳥インフルエンザ( H5N1 )		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年46週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第14巻 第46号 2012年11月30日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。